

## 2. 協議に用いた資料



## 韓国勤労者職業病予防事業プロジェクトマスタープラン（案）

### 1. 技術協力の基本的考え方

韓国において、近年多発し、社会問題化している職業性疾病について韓国政府が、これが予防に様々な施策を展開し、努力を重ねていることを踏まえ、これを補完するものとして日本国として、韓国における職業性疾病予防のために日本国が保有する当該分野の各種の技術を移転することにより協力をを行う。

### 2. 技術協力対象機関等

技術協力対象機関は次のものとする。

- ①韓国産業安全公団
- ②大韓産業保健協会
- ③順天郷大学

本プロジェクトの推進に係る最終責任を有する総括責任機関は韓国政府労働部とする。

### 3. 技術協力の目的

当該技術協力は、韓国産業安全公団産業保健研究院の業務実施基盤の整備並びに大韓産業保健協会及び順天郷大学における健康管理代行機関としての業務実施体制の強化に資することを目的とする。

### 4. 技術移転対象場所

次のものとする。

- ①韓国産業安全公団産業保健研究院
- ②大韓産業保健協会本部中央分析実験室及び同協会中央産業保健センター（必要性、効率性を考慮し、供与機材の一部を釜山産業保健センター及び光州産業保健センターに配置することを考慮する。また、派遣専門家の指導を上述2センターその他センターの職員も中央産業保健センターにおいて受けさせることができる。）
- ③順天郷大学集団産業保健管理研究所亀尾センター（必要性、効率性を考慮し、供与器材の一部を天安センターに配置することを考慮する。また、派遣専門家の指導を天安センターの職員も亀尾センターにおいて受けさせることができる。）

### 5. 技術協力の内容、レベル等

#### (1)基本的考え方

- ①技術移転は、必要な機材の供与及び日本国の技術的な手法、最新知見・技術情報の紹介等を主体に行う。
- ②実務面の習熟は、C/Pの自助努力により行うことを前提とする。
- ③専門家派遣、C/P日本研修により移転を受けた技術は、移転を受けた者がセミナーの開催等により韓国内で更に他の者に移転を行う。

(2)技術協力分野

次の分野とする。

〔総括〕

〔個別分野〕

1. 労働衛生一般
2. 作業環境管理
  - (1)作業環境測定
  - (2)局所排気装置
3. 保護具検定
4. 有害性調査
  - (1)変異原性試験
  - (2)吸入実験
  - (3)病理検査等
5. 健康管理
  - (1)職業性疾病
  - (2)健康診断管理
6. 労働衛生研究基盤整備
7. その他

(3)内容・レベル

別記の通りとする。

6. 技術移転言語

長期・短期派遣専門家による技術移転に使用する言語は日本語とする。

別記

【総括】

- ・労働部をカウンターパートとしてプロジェクト全体の効果的、効率的運営について支援する。リーダー及び調整員が対応する。
- ・これにより、プロジェクトが効果的、効率的に運営されるようになる。

(専門家)

- ・リーダー及び調整員がソウル市内に常駐する。

(C/P日本研修)

- ・なし

(機材供与)

- ・なし

【個別分野】

1. 労働衛生一般

- ・公団を中心に、労働衛生分野についての専門的な立場から労働衛生に係る全般的な相談に応ずるとともに産業保健研究院の研究体制、研究の方向について指導を行う。リクルートが可能であれば長期専門家が対応する。
- ・協力期間の早い時期に行う。
- ・これにより労働衛生にかかる全般的な水準向上が図られるとともに産業保健研究院の研究体制、研究の方向の整備が促進されるようになる。

(専門家)

- ・リクルートが可能であれば長期専門家として派遣する。リクルートが不可能であれば、短期専門家とする。
- ・派遣時期は協力期間の早い時期とする。
- ・産業保健研究院を拠点とする。

(C/P日本研修)

- ・なし

(機材供与)

- ・なし

## 2. 作業環境管理

### (1) 作業環境測定

- ・粉じん、特定化学物質等、金属類及び有機溶剤等（電離放射線を除く）に係る日本方式の作業環境測定と評価手法を紹介し、指導するとともに、日本の精度管理手法を紹介する。
- ・更なる技術の習熟は韓国側の自助努力により行う。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・これにより日本方式で作業環境測定ができ環境を評価できる人材が確保されるとともに、日本方式の精度管理手法を理解できる人材がいることとなるようにする。

#### (専門家)

- ・短期専門家とし、中央産業保健センターを拠点として技術移転を行う。

#### (C/P日本研修)

- ・フィールドでの技術の習得を主体とする。

#### (機材供与)

- ・大韓産業保健協会及び順天郷大学に対し行う。
- ・粉じん関係、特定化学物質等関係、金属類関係、有機溶剤関係、その他騒音等関係及び一部の研究用関係のものを供与する。

### (2) 局所排気装置

- ・産業保健研究院のみを対象にする。
- ・局所排気装置、除じん装置及びプッシュプル型換気装置の設計手法及び定期自主検査手法を紹介し、指導する。
- ・更なる技術の習熟は、韓国側の自助努力により行う。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・これにより、局所排気装置及び除じん装置の設計及び定期自主検査ができる人材がいるとともにプッシュプル型換気装置の設計、定期自主検査の方法が理解できる人材がいることとなるようにする。

#### (専門家)

- ・短期専門家とし、産業保健研究院を拠点として技術移転を行う。

#### (C/P日本研修)

- ・フィールドでの技術の習熟を主体とする。

#### (機材供与)

- ・必要性の有無を、初年度の短期専門家が判断する。

- ・除じん装置、排気・排液装置は対象外とする。

### 3. 保護具検定

- ・産業保健研究院のみを対象とする。
- ・ハロゲンガス用、有機ガス用、COガス用、アンモニア用、亜硫酸ガス用及び亜硫酸・いおう用の、日本方式の防毒マスク検定手法を紹介し、指導する。
- ・短期専門家、C/P日本研修により対応する。
- ・これにより日本方式で防毒マスクの検定ができるようになる。

#### (専門家派遣)

- ・C/P日本研修を先行させる。
- ・短期専門家とし、産業保健研究院を拠点として技術移転を行う。

#### (C/P日本研修)

- ・できるだけ早い時期に行う。

#### (機材供与)

- ・なし
- ・C/P日本研修員が研修期間中に韓国側の機材整備状況に照らし必要なチェックを行い、不足するものを韓国側において短期専門家派遣までに整備する。

### 4. 有害性調査

#### (1)変異原性試験

- ・産業保健研究院のみを対象とする。
- ・エームス試験、染色体異常試験及び小核試験の試験手法を紹介し、指導する。
- ・特に、染色体異常試験及び小核試験についての更なる技術の習熟は韓国側の自助努力により行う。
- ・短期専門家及びC/P日本研修により対応する。
- ・これによりエームス試験、染色体異常試験及び小核試験ができるようになる。

#### (専門家)

- ・C/P日本研修を先行させる。
- ・短期専門家とし、産業保健研究院を拠点として技術移転を行う。

#### (C/P日本研修)

- ・できるだけ早い時期に、期間を長くして行う。
- ・技術の習熟を主体とする。

(機材供与)

- ・なし
- ・C/P日本研修員が研修期間中に韓国側の機材整備状況に照らし必要なチェックを行い、不足するものを韓国側において短期専門家派遣までに整備する。

(2)吸入試験

- ・産業保健研究院のみを対象とする。
- ・ラット、マウスのSPF動物を用いての液体又は気体状物質の全身暴露による短期吸入試験手法(暴露終了まで)を紹介し、指導する。
- ・更なる技術の習熟は韓国側の自助努力により行う。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・これにより短期吸入試験ができるようにする。

(専門家派遣)

- ・C/P日本研修を先行させる。
- ・短期専門家とし、産業保健研究院を拠点として技術移転を行う。
- ・韓国側の建屋の整備状況を考慮し、協力期間の後期において行う。

(C/P日本研修)

- ・工学、機械、電気、化学分析、機器分析、動物飼育管理、生態生物学等の分野を工学系と生物系に分けて行う。
- ・できるだけ期間を長くして行う。
- ・技術の習熟を主体として行う。

(機材供与)

- ・韓国側の建屋の整備状況を考慮し、協力期間の後半において行う。
- ・C/P日本研修員が、研修期間中に必要な機材についてチェックを行い本分野の金額枠から外れる機材については、韓国側の自助努力で整備するようになるとともに、韓国側により用意する建物の構造が適正となるようにする。



### (3)病理検査等

- ・吸入後の動物についての解剖、解剖後の肉眼的検索、血液生化学検査、標本の作成、病理学的検索及び最終診断についての手法を紹介し、指導する。
- ・解剖、血液生化学検査、標本の作成に係る手法の技術移転を主体とし、病理学的検索、最終判断等の学術的な分野の習熟は韓国側の自助努力により行う。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・特に、学術的に高度であることを韓国側に周知し、必要なC/Pの確保を技術協力の前提とする。
- ・これにより、病理検査ができるようにする。

### (専門家)

- ・C/P日本研修を先行させる。
- ・短期専門家とし、産業保健研究院を拠点として技術移転を行う。
- ・韓国側の建屋の整備状況を考慮し、協力期間の後期において行う。

### (C/P日本研修)

- ・解剖、血液生化学検査、標本作成に係る技術の習熟を主体として行う。

### (機材供与)

- ・韓国側の建屋の整備状況を考慮し、協力期間の後半において行う。

## 5. 健康管理

### (1)職業性疾病

- ・重金属、有機溶剤中毒等の工業中毒、職業性皮膚疾患、じん肺症、作業態様に起因する疾病、職業がん等の職業性疾病の実態、健康診断手法、健康診断の事後措置等について、日本の最新知見、技術、情報を紹介する。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・これにより職業性疾病、健康診断手法、健康診断の事後措置等について、日本の最新知見等を得た人材がいることとなるようにする。

### (専門家)

- ・短期専門家とし、順天郷大学亀尾センターを拠点として技術移転を行う。
- ・セミナーで講義を行う等複数の者を対象として講義、講演、討議を実施する手法で行う。
- ・各年度毎の具体的な分野、時期及びテーマは、前年度末迄に韓国側と検討の上決める。

### (C/P日本研修)

- ・大韓産業保健協会、順天郷大学亀尾センター及び産業保健研究院を対象とする。
- ・産業保健研究院に係るものはC/S方式(渡航費用、滞在費等は韓国側が負担する制度)により行う。
- ・最新の情報収集、健康診断技術、健康診断の事後措置等を対象とする。

### (機材供与)

- ・大韓産業保健協会及び順天郷大学亀尾センターを対象にする。
- ・明らかに本分野の範疇に入らないものを除いた上で韓国側の要望を考慮し決める。

#### (2)健康診断管理

- ・日本において実施している総合的な精度管理手法を紹介し、指導するほか、健康診断受診者個人にかかるデータのコンピューターによる管理について日本の代表的手法を紹介し、また、韓国におけるデータ管理のやり方について相談に応ずる。
- ・精度管理については、韓国産業安全公団及び大韓産業保健協会、データ管理については大韓産業保健協会及び順天郷大学亀尾センターを対象とする。
- ・短期専門家及びC/P日本研修により対応する。
- ・これにより、総合的な精度管理手法が実施できるようになるとともに、日本におけるコンピューターによるデータ管理についての代表的手法を理解の上、韓国の実態にあったデータ管理手法を整備できるようになるようにする。

#### (専門家)

- ・短期専門家とし、精度管理、データ管理とも大韓産業保健協会を拠点として技術移転を行う。
- ・データ管理についてはC/P日本研修を先行させる。

#### (C/P日本研修)

- ・データ管理のみを対象とする。

#### (機材供与)

- ・なし
- ・データ管理については、C/P日本研修員が研修期間中に必要な機材をチェックし、韓国側において短期専門家派遣に、短期専門家が対応可能な機材を整備する。

### 6. 労働衛生研究基盤整備

- ・産業保健研究院を対象とする。
- ・産業医学総合研究所において研究手法が確立し協力可能なテーマのうちから韓国側の希望するテーマについて手法を紹介し、指導する。
- ・短期専門家、C/P日本研修及び機材供与により対応する。
- ・これによりそれぞれのテーマについて研究方法を理解した人材がいることとなるようにする。

#### (専門家)

- ・短期専門家とし、次の3テーマのうち韓国側が希望したもの(3テーマまで)について産業保健研究院を拠点として対応する。

- ①有害化学物質の皮ふ吸収の測定技術
- ②職業性末梢神経障害の電気生理学的評価技術
- ③視覚の労働生理学とエルゴノミクス
- ・産業医学総合研究所より派遣する。

(C/P日本研修)

次のテーマのうち韓国側が希望したもの（3テーマまで）について、産業医学総合研究所において研修する。

- ①交代制勤務の影響評価に関する技術
- ②ストレス評価の測定技術
- ③有機溶剤尿中代謝産物の測定技術

(機材供与)

- ・短期専門家を派遣するテーマに係る機材を供与する。
- ・C/P日本研修のテーマに係る機材については、韓国側の自助努力により整備する。

7. その他

- ・大韓産業保健協会及び順天郷大学亀尾センターを対象とする。
- ・保健管理代行機関の職員として事業場の労働衛生管理について指導する立場の職員に対し、労働衛生管理の指導能力の水準の向上を図るため、日本の事業場における労働衛生管理の実態を紹介する。
- ・C/P日本研修により対応する。
- ・これにより、日本の事業場における労働衛生管理の実態を認識し、韓国の事業場の労働衛生管理水準の向上に尽力する人材がいることとなるようにする。

(専門家)

- ・なし

(C/P日本研修)

- ・C/S方式（渡航費用、滞在費等は韓国側が負担する制度）により行う。
- ・日本の事業場における労働衛生管理の実態紹介で対応する。

(機材供与)

- ・なし

(注) (専門家)の項で「--〇〇(技術移転場所)を拠点とする」とあるのは、〇〇(技術移転場所)において技術移転を行うものであり、そこで専門家が業務を行うのに必要な各種の便宜供与(機器、事務室、机、電話、車、その他)を韓国側(技術協力対象機関)において責任をもって実施することとなるものであること。

# 暫定実施計画

## (1) 日本側投入

マスタープランにより実施する場合に想定される年度毎の技術移転手法の概要であり、変更は当然あり得る。  
また、当然、専門家リクルートの状況、C/P日本研修受入機関の都合などにより変更がある。  
「専門家派遣」の破線は「併任」のもの、「年度」は日本の会計年度

技術協力分野	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
[総括]	○	リーダー			
労働衛生一般	○	調整員			
作業環境測定	○	○	○	○	○
局所排気装置	○	○	○	○	○
保護具検定	○	○	○	○	○
測定・評価手法	○	○	○	○	○
精度管理	○	○	○	○	○
設計手法	○	○	○	○	○
定期自主検査手法	○	○	○	○	○
校正手法	○	○	○	○	○
設計定期自主検査手法	○	○	○	○	○

(韓国産業安全公団)

技術協力分野		1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
疫病原性試験	専門家派遣 C/P日本研修	試験手法 ○	○	試験手法 ○		試験手法 ○
吸入試験	専門家派遣 C/P日本研修	試験手法 ○	○			
病理検査等	機材供与 専門家派遣 C/P日本研修			試験手法 ○	○	検査手法 ○
職業性疾病	専門家派遣 C/P日本研修 (C/S方式)	【例】工業中毒等 講義、講演、 訂読等 ○	じん肺等 ○	工業中毒等 ○	職業がん等 ○	じん肺等 ○
健康診断管理	専門家派遣	【例】作業態様に起因する疾病 ○	工業中毒 ○	職業がん ○	じん肺 ○	職業性皮膚疾等 ○
		健康管理手法 ○			健康管理手法 ○	

(02 国産業安全公団)

技術協力分野	手 法				
	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
労働衛生研究基礎整備		○—○	○—○	○—○	○—○
			○—○	○—○	○—○
C/日本研修			○ ○		
機材供与	○	○			

(大 岐 産 業 保 健 協 会)

技 術 協 力 分 野	手 法				
	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
[総 括]	○	リーダー			
労働衛生一般	○	調整員			
作業環境測定	測定・評価手法 ○—○	測定・評価手法 ○—○	測定・評価手法 ○—○ 精度管理 ○—○	測定・評価手法 ○—○ 精度管理 ○—○	測定・評価手法 ○—○
職業性疾病	○ [例] 工業中毒等 講義、講演、 討議等 ○—○	○ じん肺等 ○—○	工業中毒等 ○—○	職業がん等 ○—○	じん肺等 ○—○
健康診断管理	○ [例] 作業態様に起因する疾病 ○—○	工業中毒 ○—○	職業がん ○—○	じん肺 ○—○	職業性皮膚疾患等 ○—○
その他	○ 精度管理手法 ○—○	○ 労働衛生管理実態 ○—○	データ管理 ○—○	精度管理手法 ○—○ データ管理手法 ○—○	労働衛生管理実態 ○—○
	○				

(順天郷大学)

技術協力分野	1992年度					1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
	手	法							
[総括]	専門家派遣		○	リーダー					
労働衛生一般	専門家派遣		○	調整員					
作業環境測定	専門家派遣	測定・評価手法	○	○	測定・評価手法	○	測定・評価手法	○	測定・評価手法
職業性疾病	C/P日本研修		○		測定・評価手法				
	機材供与				○				
職業性疾病	専門家派遣	[例] 工業中毒等 講義、講演、 討議等	○		じん肺等	じん肺等	職業がん等	じん肺等	じん肺等
	C/P日本研修	作業態様に起因する疾病	○		工業中毒	工業中毒	じん肺	職業性皮膚疾患等	職業性皮膚疾患等
健康診断管理	機材供与		○						
	専門家派遣						データ管理	データ管理	
その他	C/P日本研修								
	C/P日本研修 (C/S方式)								労働衛生管理実態



(2) 韓国側投入

「年度」は日本の会計年度

年度	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
内容					
・建物、施設	○				○
・カウンタートパート	○				○
・ローカルコスト	○				○



## 技術移転に必要な機材

マスタープラン（案）において機材供与対象分野となる「作業環境測定」、「局所排気装置」、「吸入試験」、「病理検査等」、「職業性疾病」及び「労働衛生研究基盤整備」の分野についての技術移転にあたって、現段階で必要と考えられる機材を列挙したものである。

したがって、予算の範囲内でこのなかから機材供与を行うこととなる。

1. 作業環境測定

(大韓産業保健協会中央産業保健センター)

機 器 等	備 考
<p>1. 粉じん関係</p> <p>(1) 試料採取機器</p> <p>イ. ローボリウムエアサンプラー</p> <p>ロ. ハイボリウムエアサンプラー</p> <p>ハ. 湿式ガスメーター</p> <p>(2) 分粒装置 (ローボリウムエアサンプラーを含む)</p> <p>(3) 位相差顕微鏡</p> <p>(4) 相対濃度計</p> <p>イ. デジタル粉じん計</p> <p>2. 特定化学物質等関係</p> <p>(1) 試料採取機器</p> <p>イ. ろ過捕集 (ローボリウムエアサンプラー)</p> <p>1. の(1)のイによる。</p> <p>ロ. 液体捕集</p> <p>小型バブラーセット</p> <p>ミゼットインピンジャー</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>ハ. 固体捕集</p> <p>シリカゲル管 (120本入り)</p> <p>活性炭管 (120本入り)</p> <p>流量計</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>2 の(1)のロによる。</p> <p>ニ. 直接捕集</p> <p>真空捕集びん (1ℓ)</p> <p>真空ポンプ</p> <p>ガス捕集袋 (5ℓ、10ℓ)</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>2 の(1)のロによる。</p> <p>(2) 光電分光光度計</p> <p>(3) ガスクロマトグラフ</p> <p>(4) 検知管方式による測定機器</p>	

機 器 等	備 考
<p>3. 金属類関係</p> <p>(1) 試料採取機器 前記採取機器による。</p> <p>(2) 光電分光光度計 2. の(2)による。</p> <p>(3) 原子吸光光度計</p> <p>4. 有機溶剤関係</p> <p>(1) 試料採取機器 前記採取機器による。</p> <p>(2) 光電分光光度計 2. の(2)による。</p> <p>(3) ガスクロマトグラフ 2. の(3)による。</p> <p>(4) 検知管方式による測定機器 2. の(4)による。</p> <p>5. 騒音関係</p> <p>(1) 騒音計</p> <p>(2) 同記録計</p> <p>6. 共通機器等</p> <p>(1) 排気又は排液処理のための設備</p> <p>7. 研究用関係</p> <p>(1) ICP (multi-type)</p> <p>(2) 高速液体クロマトグラフ</p>	

(順天郷大学集団産業保健管理研究所亀尾センター)

機 器 等	備 考
<p>1. 粉じん関係</p> <p>(1) 試料採取機器</p> <p>イ. ハイボリウムエアサンプラー</p> <p>ロ. 湿式ガスメーター</p> <p>(2) 相対濃度計</p> <p>イ. デジタル粉じん計</p> <p>2. 特定化学物質等関係</p> <p>(1) 試料採取機器</p> <p>イ. 液体捕集</p> <p>小型バブラーセット</p> <p>ミゼットインピンジャー</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>ロ. 固体捕集</p> <p>シリカゲル管 (120本入り)</p> <p>活性炭管 (120本入り)</p> <p>流量計</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>2の(1)のイによる。</p> <p>ハ. 直接捕集</p> <p>真空捕集びん (1ℓ)</p> <p>真空ポンプ</p> <p>ガス捕集袋 (5ℓ、10ℓ)</p> <p>定流量ミニポンプ</p> <p>2の(1)のイによる。</p> <p>(2) 光電分光光度計</p> <p>(3) ガスクロマトグラフ</p> <p>3. 金属類関係</p> <p>(1) 試料採取機器</p> <p>前記採取機器による。</p> <p>(2) 光電分光光度計</p> <p>2. の(2)による。</p> <p>(3) 原子吸光光度計</p>	

機 器 等	備 考
<p>4. 有機溶剤関係</p> <p>(1) 試料採取機器 前記採取機器による。</p> <p>(2) 光電分光光度計 2. の(2)による。</p> <p>(3) ガスクロマトグラフ 2. の(3)による。</p> <p>5. その他の騒音等関係</p> <p>(1) 騒音計</p> <p>(2) 同記録計</p> <p>(3) 乾湿球グローブ温度指示計</p> <p>(4) CO、CO<sub>2</sub>メーター</p> <p>(5) 酸素メーター</p> <p>6. 共通機器等</p> <p>(1) 直示天びん</p> <p>(2) 純水製造装置</p> <p>(3) ドラフトチェンバー</p> <p>7. 研究用関係</p> <p>高速液体クロマトグラフ</p>	

機 器 等	備 考
3. ゲージワッシャー (1) 本体  4. グリーンラック (1) 本体 (2) プロアユニット (3) ケージ (4) 付属品  5. 器具類 (1) 金網ケージ予備 (SUS304) (2) 処置用ワゴン (SUS304) (3) 電子天びん (動物用、上皿形) (4) 水切乾燥棚 (SUS304) (5) ポータブル消毒器 (7ℓ/min) (6) 作業台車 (600×900 SUS304) (7) 洗浄器 (5 kg) (8) 乾燥器 (3.3kg)	

4. 病理検査等

(韓国産業安全公団産業保健研究院)

機 器 等	備 考
(1) 自動血球計算機 (2) 血液生化学自動分析装置 (3) 顕微鏡 (4) ミクロトーム (5) 組織・パラフィン浸透器 (VIP) (6) 包埋センター (7) 解剖台 (8) 写真撮影装置 (9) 臓器の浸透器	



5. 職業性疾病

(大韓産業保健協会中央産業保健センター等)

機 器 等	備 考
(1) 自動血球計算機 (2) オートスパイロメーター (3) X-ray撮影機 (直接) (4) X-ray撮影機 (間接、カメラ共) (5) 共用自動現像装置 (6) 心電計 3チャンネル (7) オーディオメーター (BOX付き) (8) 分光光度計 (9) 顕微鏡 (10) 蛍光光度計 (11) 自動視力検査器 (12) 身長・体重計自動記録式 (13) 電子非観血式血圧計 (14) トレイミキサー (15) オートダイリューター (16) 血液生化学自動分析装置	

(順天郷大学集団産業保健管理研究所亀尾センター等)

機 器 等	備 考
(1) 心電計 3チャンネル (2) 眼圧計 (3) 屈折計 (4) 無散瞳眼底カメラ (5) オーディオメーター (BOX共) (6) 1000、4000集検用聴力計 (7) オートスパイロメーター (8) X-ray撮影機 (胸部腰部直接) (9) X-ray撮影機 (胸部間接) (10) 共用自動現像装置 (11) 腹部超音波診断装置 (12) 血液生化学自動分析装置 (13) 自動血球計算機 (14) 冷却遠心機 (15) 双眼顕微鏡 (16) 超低温槽 (17) 眼・耳鏡 (18) 運動負荷呼吸機能装置 (19) 自転車エルゴメーター (20) 誘発脳波計 (21) レンズメーター (22) VDT近点計 (23) 身長・体重計自動記録式 (常光) (24) 血液ミキサー (25) Enzyme immuno assay IMX, Abott (リサーチ用) (26) Computerized Tomography (TCT300程度)	

6. 労働衛生研究基盤整備

(韓国産業安全公団産業保健研究院)

機 器 等	備 考
<p>1. 有害化学物質の皮ふ吸収の測定技術</p> <p>(1) ガスマス自動分析計</p> <p>(2) 液体クロマトグラフ自動分析装置</p> <p>(3) 簡易皮ふ透過量測定装置</p> <p>(4) 凍結組織試料作成装置</p> <p>(5) マウス用人口呼吸器</p> <p>(6) ガス状物質の皮ふ暴露装置</p> <p>2. 職業性末梢神経障害の電気生理学的 評価技術</p> <p>(1) 誘発電位測定装置</p> <p>3. 視覚の労働生理学とエルゴノミクス</p> <p>(1) 眼球運動解析装置</p> <p>(2) 調節機能解析装置</p> <p>(3) 瞳孔運動計測装置</p>	

「3」技術移転に必要な機材」変更部分

変 更 前		変 更 後	
	(追 加)	P 1 上 7 行	ロ. ハイポリウムエアサンプラー
	(追 加)	P 1 上 8 行	ハ. 湿式ガスメーター
P 1 上 8 行	(3) エックス線回折装置		(削 除)
P 1 上 11 行	イ. デジタル粉じん計 P-5 L	P 1 上 12 行	イ. デジタル粉じん計
P 1 下 16 行	ミゼットインピンジャー (ガス用)	P 1 下 17 行	ミゼットインピンジャー
	(追 加)	P 1 下 16 行	定流量ミニポンプ
P 1 下 14 行	シリカゲルによる捕集	P 1 下 14 行	シリカゲル管 (120本入り)
P 1 下 13 行	活性炭による捕集	P 1 下 13 行	活性炭管 (120本入り)
	(追 加)	P 1 下 12 行	流量計
	(追 加)	P 1 下 11 行 10行	定流量ミニポンプ 2の(1)の口による。
P 1 下 11 行	エアークオートサンプラー		(削 除)
	(追 加)	P 1 下 8 行	真空捕集びん (1ℓ)
	(追 加)	P 1 下 7 行	真空ポンプ
P 1 下 10 行	ガス捕集袋 (1ℓ5枚入り)	P 1 下 6 行	ガス捕集袋 (5ℓ、10ℓ)
	(追 加)	P 1 下 5 行 4行	定流量ミニポンプ 2の(1)の口による。
P 1 下 9 行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P 1 下 3 行	(2) 光電分光光度計
P 1 下 7 行	(4) 相対濃度計 (検知器)	P 1 下 1 行	(4) 検知管方式による測定機器
P 1 下 3 行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P 2 上 5 行	(2) 光電分光光度計
P 2 上 5 行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P 2 上 11 行	(2) 光電分光光度計
P 2 上 9 行	(4) 相対濃度計 (検知器)	P 2 上 15 行	(4) 検知管方式による測定機器
P 2 上 11 行	5. その他騒音等関係	P 2 下 8 行	5. 騒音関係
P 2 上 12 行	(1) 騒音計 (NL-11)	P 2 下 9 行	(1) 騒音計
	(追 加)	P 2 下 8 行	(2) 同記録計
P 2 上 13 行 5 上 19 行	(2) 乾湿球グローブ温度指示計 5 (8) 酸素メーター		(削 除)
P 2 下 8 行 5 下 5 行	(1) 直示天びん 5 (4) ドラフトチェンバー		(削 除)
	(追 加)	P 2 下 1 行	(2) 高速液体クロマトグラフ

変 更 前		変 更 後	
P3上5行 上8行	イ. ローボリュームエアサンプラー (4)位相差顕微鏡		(削 除)
	(追 加)	P3上5行	イ. ハイボリュームエアサンプラー
	(追 加)	P3上6行	ロ. 湿式ガスメーター
P3上10行	イ. デジタル粉じん計 P-5L	P3上8行	イ. デジタル粉じん計
P3上13行 上14行	イ. ろ過捕集 (ローボリュームエアサンプラー) 1. の (1) のイによる。		(削 除)
P3下16行	ミゼットインピンジャー (ガス用)	P3上13行	ミゼットインピンジャー
	(追 加)	P3上14行	定流量ミニポンプ
P3下14行	シリカゲルによる捕集	P3上16行	シリカゲル管 (120本入り)
P3下13行	活性炭による捕集	P3上17行	活性炭管 (120本入り)
	(追 加)	P3上18行	流量計
	(追 加)	P3上19行 上20行	定流量ミニポンプ 2の (1) のイによる。
P3下11行	エアオートサンプラー		(削 除)
	(追 加)	P3下13行	真空捕集びん (1ℓ)
	(追 加)	P3下12行	真空ポンプ
P3下10行	ガス捕集袋 (1ℓ5枚入り)	P3下11行	ガス捕集袋 (5ℓ、10ℓ)
	(追 加)	P3下10行 9行	定流量ミニポンプ 2の (1) のイによる。
P3下9行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P3下8行	(2) 光電分光光度計
P3下7行	(4) 相対濃度計 (検知器)		(削 除)
P3下3行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P3下3行	(2) 光電分光光度計
P4上5行	(2) 光電分光光度計 (又は光電光度計)	P4上5行	(2) 光電分光光度計
P4上9行 上10行	(4) 相対濃度計 (検知器) 2の (4) による。		(削 除)
P4上12行	(1) 騒音計 (NL-11)	P4上10行	(1) 騒音計
	(追 加)	P4上11行	(2) 同記録計
P4上14行 上17行	(3) カク温度計セット (6) H. Sメーター		(削 除)
P4下7行	(2) 乾燥器		(削 除)
P4下4行	(5) 排気又は排液処理のための設備		(削 除)
P4下2行	ICP (multi-type)		(削 除)
	(追 加)	P4下1行	高速液体クロマトグラフ

変 更 前		変 更 後	
P5下3行	2. 高圧蒸気滅菌装置 (SRSP-11特型)	P5下3行	2. 高圧蒸気滅菌装置
P6上2行	3. ゲージワッシャー (SW-3KD-特別)	P6上2行	3. ゲージワッシャー
P6上4行	4. クリーンラック (NCR-V)	P6上4行	4. クリーンラック
P7上9行	(大韓産業保健協会)	P7上8行	(大韓産業保健協会中央産業保健センター等)
P7上13行	(3) 冷却遠心機 (コクサンH・2100M <sup>2</sup> )		(削 除)
P7下11行	(7) 屈折計 (眼)		(削 除)
P7下9行 下8行	(9) 血液ガス分析装置 (トーア) (AVT-990)		(削 除)
P7下3行	(14) 高速液体クロマトグラフ		(削 除)
	(追 加)	P7下6行	(11) 自動視力検査器
P7下2行	(15) 身長・体重計自動記録式 (常光)	P7下5行	(12) 身長・体重計自動記録式
P7下1行	(16) アネロイド血圧計卓上型 (タイコス)	P7下4行	(13) 電子非観血式血圧計
P8上2行	(17) トレイミキサー (イワキ)	P7下3行	(17) トレイミキサー
	(追 加)	P7下1行	(16) 血液生化学自動分析装置
P8上5行	(順天郷大学集団産業保健管理研究所亀尾センター)	P8上1行	(順天郷大学集団産業保健管理研究所亀尾センター等)
P8下17行	(8) 胸部直接・間接両用レントゲンバス		(削 除)
P8下10行	(15) 冷却遠心機 (コクサンH-700R)	P8下15行	(14) 冷却遠心機
P8下7行	(18) ナイツ (眼・耳鏡)	P8下12行	(17) 眼・耳鏡
P8下3行	(22) アコモドメーター		(削 除)
P8下2行	(23) スリットランプ		(削 除)
P9上4行	(27) 血液ミキサー (トーア)	P8下5行	(24) 血液ミキサー
P9上5行	(28) 尿カップ搬送器		(削 除)
P9上9行	(32) ストップウォッチ		
	(追 加)	P8下4行 3行	(30) Enzyme immuno assay IMX, Abbott (リサーチ用)
	(追 加)	P8下2行 1行	(31) Computerized Tomography (TCT300程度)
P10	7. その他 (全頁) }		(全削除)

3. 大韓民国生活事情

在外公館赴任者の手引

平成 3 年 3 月

在大韓民国日本国大使館





本赴任者の手引きは、在大韓民国日本国大使館に新たに赴任する本人及び家族の便宜を図るため、平成3年3月現在の当地の状況、生活上の諸問題を中心にとりまとめたものである。当館に赴任する者乃至内定者は、早い機会に本手引きを一読し、赴任に対する物心両面の準備を進めると共に、これら基礎的な情報をもとに前任者と連絡を取るなどの手順を踏むことが望まれる。

平成3年3月

在大韓民国日本国大使館

総務参事官



## 目 次

1. 気候・風土・言語等	( 4 )
2. 住宅	( 4 )
3. 銀行関係	( 6 )
4. 自動車関係	( 6 )
5. 医療と健康	( 9 )
6. 治安	(10)
7. 市内・市外交通	(10)
8. 子女教育	(11)
9. 通関・免税関係	(14)
10. 使用人・ベビーシッター	(15)
11. 買物・サービス	(15)
12. 教養・社交・レジャー等	(18)
13. 携行品等	(22)
14. 通信事情	(23)
15. 写真撮影	(23)
16. 生活上必要な電話番号	(23)
17. その他	(23)

別紙『病院リスト』

## 1. 気候・風土・言語等

(1) ソウルの気候は日本人が想像する以上に大陸的であり、冬季は大陸内部からのモンスーンのため12月から2月にかけては零下20℃まで下がることもある。降雪はあまり多くない。

夏は6月頃から暑くなり、7月下旬を前後して約1カ月間は最高35℃まで上昇するが、日本と比べると湿気が少なく凌ぎやすい。

春と秋はごく短い期間に限られている。雨は7月から8月にかけてよく降るが、梅雨のような本格的な雨季はない。降水量は年間1,200ミリ程度で日本より少ない。

(2) 言語は、ウラル・アルタイ語系に属する韓国語（朝鮮語）を使用している。文字はハングルと漢字を混ぜて使うが、政府刊行物や若い世代はハングルを多用している。街の看板は殆どがハングル表記である。語順は日本語とほぼ同じであるが、発音や語尾変化が複雑であり、総体的に易しい言語ではない。赴任者の心得としては、生半可な会話よりも、まずハングル文字を読めるようにしておくことが勧められる。

当国では第二次世界大戦終了までは日本語を使っていたため、現在60歳以上の者の多くは日本語を解するが、若い世代の人々は少数を除き日本語を解するものはいないと思っ  
てよい。官公庁での日本語の通用度は急速に低下しており、また英語もホテル等観光客の多く訪れる場所以外はあまり通じず、韓国語の学習の必要性が増大しつつある。

(3) 国民はウラル・アルタイ語族の韓国人で、人種的には日本と同じモンゴロイドである。見た目は日本人とよく似ているが、国民性はかなり異なるので注意を要する。宗教人口は仏教徒が約1,111万人、キリスト教が約764万人、カトリックが約144万人、天道教が約145万人である。

## 2. 住宅

当地の住宅事情は、不動産価格の急騰、適当な物件の少ないこと及び契約内容が貸手に有利な例が多いこと等から、種々の制約がある。

### (1) 住宅の種類

(イ) 国有財産の館員宿舎は現在8軒を使用中であり、原則として参事官以上の館員が入居している。これらは建築後相当の年数が経っており、共益費の負担も大きい（冬期には月30～40万ウォン）が、上記住宅事情の下で便宜な存在となっている。

(ロ) 館員の大部分は大韓住宅公社の賃貸借住宅である南山外人アパート又はソウル市外郎洞（漢江外人住宅）に住んでいる。これらのアパートは築後20年を過ぎており、立付け、暖房等に難がある。家賃は住居手当の枠内にほぼ収まっているが、冬の暖房費等として20万ウォン前後を負担する。とはいえ、民間アパートよりは格段に安いので大部分の館員が入居している。（南山外人アパートは南山をソウル市民の憩いの場とする公園化計画をソウル市が構想しており1993年より取り壊し予定といわれているが、現在のところ具体的計画はない模様。）上記の外人住宅は、入居希望者が多く、増員の場合の新規入居には相当期間かかるが、前任者がいる場合は大概引継ぎが可能で、前任者の

退居後1週間程度で入居できる。なお住宅公社以外で上記アパートと同程度の民間住宅に入居しようとする場合、韓国独特の賃貸制度であるチョンセを利用することとなり、保証金が現在の住居手当限度額の100倍程度の額となること、借家人の権利保護が日本より弱いこと、及び契約期間が通常1年であるため、毎年値上げがあること等、入居には少なからぬ困難がともなう。

(ハ) 従来より館員が利用している不動産業者、外交団向け住宅紹介機関等は特になし。

## (2) 入居・解約の手続き及び条件

### (イ) 家を借りる際の留意事項

季節別では春と秋が引っ越しシーズンで比較的物件を探しやすく、地域別では郊外より市街地に物件が比較的多い。

住居に修理必要部分がある場合、契約以前に修理を要求することができ、契約後であっても建物の基本的部分については修理を要求することができるが、技術的な観点から十分な修繕は期待し難い。

住居の空き巣狙いによる被害は多い。アパートの場合は警備員が24時間勤務しており、また外国人の多く住む独立家屋の集まった地域には警察官の防犯検問所が設置されているので、一般の住宅地よりは安全性が高いが、過信は禁物である。

### (ロ) 入居手続き及び条件（一般的な例）

家を借りる場合、前払いの保証金と月払いの家賃とがある。まず契約と同時に保証金の10%相当額を契約金として支払い、一定の期間をおいて中途金として50%相当額を、そして入居時に残金を支払う。家賃は後払いで、保証金は家賃を明け渡す際に返還される。

不動産屋の手数料は保証金の額に応じて計算される。塵芥処理料、光熱費等は毎月の通知書に基づき銀行に振り込む。

なお外人アパートの場合、保証金は家賃の2ヵ月分、家賃は原則として、その月の20日払いで、前月分の光熱費等とともに管理事務所に納めるようになっている。

防犯設備等の改善要求は契約前に行なう必要がある。

### (ハ) 解約手続き及び条件

解約の場合は1～2ヵ月前に事前通告を要する。アパートの場合、明け渡し日にすべての料金が精算され、独立家屋については家賃は明け渡し日に精算されるが、光熱費、電話料等は概算払いにて家主と交渉する。

### (ニ) 家具等のレンタル

電気製品、家具等のレンタルは大韓住宅公社関係の業者が2軒、その他民間の業者が1軒取り扱っているが、品物が中古で具合の悪いものが多く、値段も安くないのでそれ程勧められない。

## ．銀行関係

(1) 普通預金の非居住者口座には米ドル、日本円、ウォンの3種があり、米ドル、日本円には、利息はつかない。また、非居住者は定期預金通帳を開設できない。

(2) 口座開設申込書を提出することにより、邦銀その他市中銀行に非居住者口座を開設できる。東京銀行ソウル支店の場合は当館会計にて手続きを行なえる。ドル口座は給与等の本邦からの送金時に、ウォン口座は住居手当支給時に（国有宿舍入居者を除いて）それぞれ必要なので、着任後早急に開設すること。

外貨用クレジットカードの制度はない。通常、外国人に対して銀行はクレジットカードを発行していない。

(3) 米ドル、日本円は市中銀行、空港内の銀行、ホテルのフロント等でウォンに交換してくれる。その際パスポートの提示を求められることがある。また、大使館から月水金の三回、東京銀行ソウル支店へ公金のための連絡便が出ており、その際通帳と申込書をその便に乗せれば午後にはウォン貨を受け取れる。なお預金口座から交換する方が現金から換えるよりレートが有利である。

(4) 外貨用小切手帳は発行していない。ウォン貨は最高額紙幣が10,000ウォン（約1,900円）と小額のため、高額を支払には手票(スッピー)と呼ばれる小切手を使用することが多い。これは銀行等で換金せずに現金と同じように用いることができる。

(5) 外国送金は銀行で所定の用紙にて行なえる。電信送金、普通送金、送金小切手による送金の3種がある。なお国内送金は東京銀行ソウル支店では行なっておらず、市中銀行まで行く必要がある。

(6) 非居住者がウォン貨を外貨に交換する場合、外貨からウォン貨に換えた証明書を提示すれば、そのウォンの金額内で外貨を購入できる。米ドル、日本円は空港の売店、主要ホテル、外国人観光客のよく行く土産物店等ではそのまま使える。

## 4. 自動車関係

### (1) 自動車購入方法

(イ) 館員の大多数は日本車（トヨタ、日産の2,000ccクラス以上）を購入しており、日本車が品質も良く、売却の際にも有利である。上記以外のメーカーの日本車も購入可能である。また最近では韓国車を購入する館員もふえているが、やはり品質の点で難点があるとされている。

(ロ) 外国産車の輸入に関しては「大韓民国に駐在する外国公館及びその公館員の車輛に関する規定」により、公館長は夫人用を含めて外国産車を2台、その他の館員は1世

帯につき1台購入することができる。韓国産の車であればさらにもう1台所有可能である。

欧米製の車を持ち込むことも勿論可能であり、メンテナンスもできるが、部品の調達はかなり困難を伴う。

(ハ) 当国にて韓国車を購入する場合、発注から1週間程で入手できる。日本車を購入する場合、本邦自動車メーカーに直接発注あるいは当国駐在販売代理店を通じて発注すると、入手までに2～3ヵ月かかるのが普通である。

赴任者が当国外務部より自動車輸入の許可を得たあと必要事項を記入した口上書を外務部に出すと、外務部では当該税関当局へ自動車免税輸入通関の協力を依頼する。これらの免税通関手続きに要する日数は1週間乃至10日である。なお自動車の通関に際し税金は一切掛からないが、荷揚料、倉庫料及び通関手数料等の諸経費が必要である。

(ニ) 中古車を購入する場合、購入方法は新車の場合と同じである。一般の韓国人から購入する場合は免税とはならず、免税特権者から購入する場合に限り新車購入の場合と同様の免税手続きをとることができる。

(ホ) ナンバー・プレートは、自動車輸入免状の写し、自動車保険証の写しを付して外務部所定の申請書を提出すれば3～4日で入手できる。

自動車を所有している当館館員はすべてA I U自動車保険に加入している。内容は対人、対物、全損、医療等であり、赴任後当地で加入することができる。日本車を輸入する場合の輸送中の事故に対しては、本邦出発前に海上保険に加入するとよい。

ガソリンは当館と取引のあるガソリンスタンド(秘苑注油所)で何時でも免税にて購入できる。なおソウル市以外のスタンドにて給油した場合、免税手続きはできないので、一旦税込の価格にて支払い、後日上記スタンドに領収書を提出することにより税金分に相当するガソリンの支給を受けることができる。

## (2) 運転免許証

所定の運転免許証発行申請書に必要事項を記載の上、本邦運転免許証、当国外務部発行の身分証明書の写し、カラー写真3枚を添付して市警察当局交通課免許係に提出すれば、1週間以内に交付が受けられる。

## (3) 自動車運転の留意事項

(イ) 自動車運転時には運転免許証、外務部発行の車輛登録証を常時携帯すること。保険加入証ももっているとよい。

(ロ) 特に義務付けられてはいないが、事故表示三角板を準備しておいたほうがよい。また冬季は降雪後道路が凍結するのでスパイク・タイヤが必要である。これらはいずれも当地にて入手可能である。ただし、バク・タ仔装備の走行を禁じている道路がある。

(ハ) 現在、自家用車の所有率が急上昇しており、ソウル市内だけでも1日に300台ずつ車が増えているといわれ、朝夕の通勤時間帯は言うまでもなく、昼間でも車が道路にあふれ、地下鉄等の公共運輸手段の整備が焦眉の急となっている。また当地のドライバー(特にバス及びタクシー)の運転マナーは劣悪で、自動車台数あたりの事故発生件数も日本より相当上回るため、車の運転はよくよく慎重に行なう必要がある。

(ニ) 当国は右側通行であり、左折禁止のところが多い。交差点では進行方向の信号が青でも左折できず、左折専用の信号に従わねばならない。また右折は、直進方向が赤信号でも横切ろうとする横断歩道が青信号でなく歩行者が渡っていない安全な場合には可能である。

#### (4) 交通違反及び交通事故

交通規則違反に対し、外交官には罰金等の行政処分はないが、外交官の車輛といえども当国の道路交通法には無論従わなければならない。

事故発生時にはすぐに保険会社(必要に応じ)に連絡し、具体的な処理はすべて保険会社に任せるのがよい。万一その時の事情で連絡する時間的余裕がない場合には、相手側の車のナンバー、連絡方法、住所、氏名住民登録証等で確認し、あとは保険会社に任せればよい。自分もしくは相手側の車が保険会社による処理を待たずにいち早く修理する必要がある場合は、修理工場に対し、当初の破損状況が判るように写真を撮ったうえで修理するよう依頼することが肝要である。

#### (5) 自動車の保守

当館館員は主に次の自動車修理工場を利用している。

進亜工業社

西大門区延禧洞76-23

電話：324-0947, 334-6939

トヨタ自動車に関しては専用の修理工場がある。

進世自動車整備(株)

江南区駅三洞824-5

電話：556-4601

日産自動車は年1回、10月頃日本からサービス派遣員を送っており、館員私用車についても整備してくれる。

米国車の場合は米8軍基地近く(クラウン・ホテル横)のガレージ等である程度の修理が可能である。

#### (6) 自動車の売却・廃棄方法

上記「大韓民国に駐在する外国公館及び車輛に関する規定」に従い、車輛は離任の場合又は通関後3年が経過すれば、外務部当局の承認を得たうえで非特権者(一般人)に売却



又は譲渡することができる。大使館員等特権者に売却又は譲渡する場合は、事後通告及び名義変更の手続きだけでよい。

売却には新聞広告、外交団回章、中古車ディーラー等を利用する方法がある。自動車輸入自由化が進むにつれ中古車の値段が下がる傾向にあるので、転売をあてにして赴任時にあまり高価な車を買うことは勧められない。

自動車を廃棄する場合は、廃車会社にて廃棄したのち、廃車証明を外務部に提出する。

## 5. 医療と健康

### (1) 当地の医療制度及び本邦での準備

(イ) 当地においては、日本と同水準とはいえないが、殆どあらゆる病気について治療が受けられる。

(ロ) 日本から持参したほうがよい常備薬としては、風邪薬、アスピリン、胃腸薬、下痢止め（正露丸、ワカ末錠等）、メンソレータム、オロナイン軟膏、目薬等がある。韓国には日本以上に薬局が多いが、薬は若干強く体質に合わない場合がある。

(ハ) 韓国にはこれといった風土病はないが、B型肝炎の罹患率が高いので、できれば赴任前若しくは赴任後の早い時期に予防接種を受けるとよい。

(ニ) 韓国には国民保険制度があるが、まだ国民皆保険には到っていない。大使館員の場合は本省共済組合制度が適用されるため当地の保険に加入する必要はない。

(ホ) 医師、病院の選択は自由である。選択に際しては住居からの遠近、病院の施設、医師の評判、邦人がよく利用しているか否か等を確認することが勧められる。大使館指定医は特に定めていない。当国にはホーム・ドクターの制度もある。

### (2) 医療の受け方

(イ) 一般に医師との面会予約は電話で事前に取り付けておいたほうがよい。往診は最近は来てくれない傾向にある。

(ロ) 救急車を呼ぶ場合の消防署の電話番号は119である。大きな総合病院には休日、夜間に急患用の応急室が開かれており、また必要に応じ病院からも救急車を差し向けてくれる。

(ハ) 当国は医療費の高額な部類に属する。通院の場合は原則としてその都度現金にて医療費を支払うが、後日一括して支払うこともできる。入院の場合は一時金を前払いし、残額を退院時に支払う。

共済組合に対する医療費や出産費の請求手続きは、所定の申請書に医師からの領収書と明細書をそえて公信にて行なう。

(ニ) 秋の定期健康診断は、現在、ソウル市内の順天郷大学病院を指定して実施している。

(ホ) 病院のリストについては巻末別紙を参照ありたい。

### (3) 日常生活での健康上の注意

当地の人々は一般に衛生観念が薄い。留意点としては、生水を飲まないこと、夏には魚介類のなまものを避けること等が挙げられる。また公衆浴場、理髪所などでも病気に感染することがあるので注意を要する。冬は空気が相当乾燥し、家庭で加湿器を用いている館員もある。

水泳は指定された場所であれば差し支えない。また、当地には昼寝の習慣はない。

## 6. 治安

### (1) 治安情況

韓国の治安は日本を除く諸外国に比較して良好であるが、最近では盗難及び凶悪犯罪が増加傾向にある。

宿舍の防犯対策としては、入居時の鍵の点検、交換、増設が勧められる。集団的なスリやたかりは多くないが、空港、駅、市場、デパート、バスの車内等、人の多く集まるところにはやはりスリがいる。バス等に乗った際、貴重品の入った荷物は座っている人に預けないほうがよい。また、夜間ひとりでのタクシー乗車は避けたほうが無難である。

### (2) 被害に遭った際の措置振り

本人が直接地元警察に連絡してもよいが、言葉の問題もあるので、大使館の警備担当官を通して治安本部（警察）外事課へ連絡し捜査依頼するとよい。

### (3) 館員間の緊急連絡体制

緊急連絡網が別途指定されている。

## 7. 市内・市外交通

### (1) 電車・地下鉄の利用方法

国鉄にはソウル駅から地方に延びる路線、及びソウル周辺部を運行する郊外線があるが、後者は運転頻度が低く利用する必要性もあまりない。利用方法は日本とほぼ同じだが、特急、急行列車に乗る場合、日本と違い乗車券と特急券、急行券を別々に買うのではなく、一列車につき切符一枚を買えばよい。

ソウル市内の地下鉄最低区間の運賃は250ウォンであり、駅名はハングルの他アルファベット表記もある。なお地下鉄駅にはトイレの設備のないところが多い。

### (2) バスの利用方法

(イ) 市内バスは日本のいわゆる乗り合いバスと同じで、ワンマン・バスである。料金は、乗車後車内で買う場合は180ウォンであり、停留所前等では乗車用トークンを1枚170ウォンで売っている。路線別に番号で表示され、同一の番号でも赤色と青色によって停車する停留所が異なる。

(ロ) 座席バスは45人乗りのワンマン・バスで、薄緑とクリーム色のツートン・カラーの車体、料金は470ウォンである。一般の市内バスと同様、路線別に番号表示されているが、市内バスより停留所が少ない。

(ハ) 市外バスも日本の乗り合いバスと同様だが、郊外と市内の間の輸送を主とするため、郊外ではきめ細かく停車し、市内では主要停留所にしか停まらない。

(ニ) いずれのバスの場合も、停留所の前に多数のバスが連なってつかえている場合にはかなり手前で停車するのが常であり、すばやく乗りこむ呼吸が必要である。

### (3) タクシーの利用方法

(イ) タクシーには一般のタクシー、それよりやや高級な“88”タクシー、ホテル・タクシー及びKoaxタクシーとがある。街を走っているタクシーの大部分は一般のタクシーまたは88タクシーで、料金も安く庶民の足となっている。88タクシーはいわゆる無線呼び出しタクシーで、料金は一般のタクシーの1.5倍程度である。

(ロ) ホテル・タクシーは各ホテルに属する主に宿泊客専用のタクシーであるが、これにはメーターがなく料金は交渉次第ということで、上記2種類のタクシーより大分高いと考えてよい。

もうひとつ主に米軍関係者のためにKoaxタクシーが走っているが、外国人でドルをもっている場合には乗れることもあるので、他に手段のないときには試してみるのもよい。

(ハ) 一般のタクシーまたは88タクシーは手を挙げて比較的楽に乗ることができる。深夜遠くへ行くときなど乗車拒否される場合があるが、料金次第で交渉が成立する場合もある。

運転手に対してチップは原則として不要であるが、特に荷物があつたような場合には千ウォン程度あげるとよい。相乗りは一応禁止されているが、実際には常に行なわれており、相乗りしなければタクシーの台数が足りないのが実情である。

## 8. 子女教育

### (1) 日本人学校

(イ) 所在地：江南区開浦洞山84

電話：572-7011, 574-0348, 572-6972

(ロ) 生徒数 (1991年1月21日現在)

幼稚部 81人

小学部 284人

中学部 94人

計 459人

教員数 (1991年1月21日現在)

日本からの派遣教員	19人
常勤現地教員	7人（日本人2人、韓国人5人）
非常勤現地教員	5人（日本人1人、韓国人4人）
計	31人

(ハ) 経費負担

幼稚部

入学金	¥100,000
授業料	¥110,000（月額）
通学バス費	¥60,000（月額）
P T A会費	¥12,000（年額）
学校障害保険	¥3,370（年額）
暖房費	¥24,000（11～2月、月額）

小、中学部

入学金	¥100,000
授業料	¥95,000（月額）
通学バス費	¥60,000（月額）
P T A会費	¥12,000（年額）
学校障害保険	¥13,500〈小学部〉、¥17,200〈中学部〉（年額）
暖房費	¥24,000（11～2月、月額）

(二) 赴任前に揃えるべき書類等（編入学の場合）

前の学校からもらってくる書類

- 在学証明書
- 指導要録の写し（蔽封のもの）
- 健康診断票
- 歯牙検査票
- 氏名ゴム印

教科書については「海外子女教育財団」に問い合わせること。

財団法人「海外子女教育財団」

東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル6階

電話：(03)580-2511

大阪府大阪市梅田1-2-200 大阪駅前第一ビル2階

電話：(06)344-4318

(2) 日本語学校補習校

当地には設置されていない。

(3) 現地校

当国の教育制度に基づく現地校に館員子弟が通学した例は、高校以下についてはなく、大学についてはわずかの例がある。

(4) 外国学校

当地の英語系の外国学校には、ソウル・インターナショナル・スクールとミッション系のソウル・フォーリン・スクールの2校がある。いずれも幼稚園から高等学校までの課程を有している。

(イ) ソウル・インターナショナル・スクール (S I S)

Seoul International School

Kangdong P.O.Box 61, Seoul, Korea 134-600

Tel:233-4551/2

FAX:(0432)751-5133

Junior Kindergarten(HALF DAY)

入学金 無料

授業料 ₩2,600,000 (年額) ₩1,350,000 (1学期)

通学バス費 ₩ 660,000 (年額) ₩ 70,000 (月額)

Senior Kindergarten(FULL DAY)

入学金 無料

授業料 ₩4,900,000 (年額) ₩2,550,000 (1学期)

通学バス費 ₩ 660,000 (年額) ₩ 70,000 (月額)

Elementary(Gr.1-5)

入学金 ₩ 150,000

授業料 ₩5,300,000 (年額) ₩2,750,000 (1学期)

教科書保証金 (紛失、破損等がなければ退学時返還)

₩ 40,000 (Gr.3-5のみ)

通学バス費 ₩ 660,000 (年額) ₩ 70,000 (月額)

Middle School(Gr.6-8)

入学金 ₩ 200,000

授業料 ₩5,900,000 (年額) ₩3,050,000 (1学期)

教科書保証金 ₩ 70,000

通学バス費 ₩ 660,000 (年額) ₩ 70,000 (月額)

High School(Gr.9-12)

入学金 ₩ 250,000

授業料 ₩6,200,000 (年額) ₩3,200,000 (1学期)

教科書保証金 ₩ 100,000

通学バス費 ₩ 660,000 (年額) ₩ 70,000 (月額)

(ロ) ソウル・フォーリン・スクール (SFS)

Seoul Foreign School

55 Yonhi Dong, Seoul, Korea 120-113

Tel:335-5101/5

FAX:(82-2)335-1857

CABLE:SFSCHOOL SEOUL

Jr. Kindergarten

入学金 ₩ 268,000

授業料 \$ 1,500 + ₩1,941,000 (年額)

教科書代 無料

通学バス費 ₩ 835,000 (年額)

Sr. Kindergarten—5th Grade

入学金 ₩ 268,000

授業料 \$ 3,000 + ₩3,334,000 (年額)

教科書代 無料

通学バス費 ₩ 835,000 (年額)

Grades 6-8

入学金 ₩ 268,000

授業料 \$ 3,000 + ₩3,960,000 (年額)

教科書代 無料

通学バス費 ₩ 835,000 (年額)

Grades 9-12

入学金 ₩ 268,000

授業料 \$ 3,000 + ₩4,224,000 (年額)

教科書代 無料

通学バス費 ₩ 835,000 (年額)

9. 通関・免税関係

(1) 通関

外交官が当国に入国する際、通関手続きは行なわれるが、荷物の検査は行なわれない。

また、持ち込む荷物について外交官には申告の義務はない。

(2) 免税

引越し荷物その他物品の輸入通関に関しては、船荷証券又はAIRWAY BILLのコピー及び内容品梱包明細書等を当国外務部に提出して、免税輸入通関許可書を得ることになる。これには1週間程度の時間がかかる。赴任後日本から小包み等を受け取る手続きについても同様である。

また当地には外交官用のコミッサリーがあり、所定の免税申請書を外務部に提出し、その許可を得て洋酒、タバコ及びある程度の外国産食料品等を免税で購入できる。

なお外交官には外務部発行の免税カードがあり、指定されたホテル等で利用することができる。

## 10. 使用人・ベビーシッター

### (1) 運転手

(イ) 当館館員の約5割が運転手を雇用しており、彼らの大半は日本語の解る人たちで便利であるが、最近では賃金の上昇が著しく、家計に占める負担が増大している。給与水準としては、平日9:00～20:00、土曜日9:00～15:00で月40～55万ウォン程度である。超過勤務については1時間当たり5,000ウォン程度、日曜日の出勤には、1.5～2万ウォン程度を支払っている場合が多い。

(ロ) 紹介所というものは特になく、前任者の運転手をそのまま雇用したり、運転手仲間や現地職員から紹介を受ける例が多い。

(ハ) 雇用や解雇は通常口頭による。退職金は勤続1年当たり月給1ヵ月分に相当する額を支給している。

(ニ) 当地では使用人の顔、体形が日本と変わらず、日本語も話すため、外国人であることをつい忘れがちであるが、実際は考え方や習慣の異なる外国人であり、この点を理解した上で接する必要がある。例えば3月1日の三一節、8月15日の光復節等には休日出勤を強制しないなどの配慮が望まれる。

### (2) メイド・ベビーシッター

(イ) メイドは館員の約6割が使用している。勤務時間は通常平日、土曜日とも9:00～18:00である。賃金は韓国YMCAの基準(日当18,000)にしたがっている家庭が多い。

(ロ) 紹介はYWCA (Tel. 777-5726)、あるいは外人住宅で働いているメイド仲間を通じて雇用している。

(ハ) 雇用、解雇のしかた、留意事項等は運転手の場合と同様である。

## 11. 買物・サービス

(1) 商店の営業時間

大部分のデパートは通常10時30分に開店し、20時に閉店する。街の商店や市場は毎日早朝から夜遅くまで営業している。

(2) 商店の紹介

ロッテ・ショッピングセンター

中区南大門路 Tel:771-25

ロッテ・ホテルに隣接するデパートで規模はソウル一。一般庶民にとっては高級イメージが強い。火曜が定休日。9階は海外旅行者用の免税ショップとなっており、年中無休。

新世界（シンセゲ）デパート

中区忠武路 Tel:754-1234

三星グループ系で日本の三越と提携している。紳士物から子供用にいたるまでファッションが充実している。月曜が定休日。

美都波（ミドバ）デパート

中区南大門路 Tel:754-2222

大農グループ。明洞入口に立つ比較的大きなデパート。第二、第四水曜が定休日。

現代（ヒョンデ）デパート

江南区狎鷗亭洞 Tel:547-2233

現代グループ。地下鉄3号線狎鷗亭駅前に立つ大規模デパート。月曜が定休日。

漢陽（ハニャン）スーパー・ニューコア

江南（カンナム）に位置し、品物も値段もデパートと概ね同じ。インテリア用品や家具調度品などはデパートより高いものがある。

東大門（トンデムン）及び南大門（ナムデムン）市場

東大門及び南大門付近に位置し、韓国最大の市場である。あらゆる品物が揃っておりデパートと比べると半値から3割程度安く購入できるが、質はかなり落ちる。商品に値札がついておらず、客を見て値を決める感あり。日本人には大変高く言うので要注意。

江南（カンナム）地下街

高速バス・ターミナル前に位置する約2キロにわたる地下街。外国人観光客はあまり行かず、主に韓国人相手の商店街で、値段も安い。

梨泰院洞（イテウォンドン）商店街

米軍人や観光客を対象とした商店街である。商品は旅行者向けと見られる高い値がついており、値切る楽しみのあるショッピング街。海外有名メーカーのコピー商品（バッグ、時計等）が大量に売られている。カスタム・テラーも多い。



#### 小公洞（ソゴンドン）地下商店街

ロッセ・ホテルからプラザ・ホテルにかけての地下に位置し、多くの専門店をもつ。旅行者相手の店が多く、値段はデパートと同等か、店によってはもっと安く購入できる。

#### 漢江（ハンガン）ショッピング・センター

日本の電気製品、味噌、醤油、西洋野菜等、市場にない高級品があり、割高ではあるが利用する邦人が多い。

### (3) 各種商品・物資の是非及び調達方法

#### (イ) 衣類

既製服は種類が豊富で品質は落ちるが、色、柄、サイズ等は日本のものとあまり大差がない。仕立て料が安く、既製服より注文服の方が割安な場合が多い。但し仕立ての上手、下手がある。

なお革靴は型が若干日本人に合わない場合がある。

#### (ロ) 食料

食料品は大抵のものが手に入る。入手困難なものについては、日成・日通またデンマークのPETER JUSTESEN等に注文して取り寄せている。

### (4) 各種サービス

#### (イ) 商店のバーゲンセール

バーゲンセールは一般商店街でも行なわれるが、主体はデパートである。日本のお盆にあたる秋夕（チュソク）前後を含めて年に4～5回行なわれる。

#### (ロ) クリーニング

日本と比べるとかなり雑であるが、ホテルやリヴァーサイド・ヴィレッジにあるクリーニング店の場合は仕上がりも結構よい。和服を安心して出せるようなところはない。

#### (ハ) 貸し衣装

モーニング等礼服は次の業者が賃貸を行なっている。費用は24時間で30万～35万ウォン程度である。

サンシャイン イェーボゲチブ（世宗ホテルの近所）

中区忠武路 Tel:776-5130, 778-8693

#### (ニ) 貸しピアノ

当地には貸しピアノ店といったものは特にない。

#### (ホ) 名刺印刷

一般的な仕様のものであれば韓国製で十分である。当館では主に次の業者を利用しており、注文後2～3日で入手できる。

賢文社（ヒョンムンサ） Tel:735-7371

## 12. 教養・社交・レジャー等

### (1) 語学学習

#### (イ) 語学学校

延世大学校 言語研究教育院 韓国語教育部

Tel:392-6405

私立延世大学校が、韓国語を学ぼうとする外国人のために集中語学教育を行なう機関として1959年に設立した施設。1989年に名称が韓国語学堂から韓国語教育部に変わった。教師は修士以上の者で構成されていて、経歴も長く施設も良好である。

授業は韓国語で行なわれ、文法、聴解、読解、会話、作文、韓国の文化等を学習する。クラスは1級から6級までに別れている。授業時間は月曜から金曜までの9:00~13:00迄で4時限構成になっている。授業料は1学期につき559,000ウォンである。年間4学期が開設され1学期は10週間である。

ソウル大学校語学研究所

Tel:877-0624, 877-0100~9

国立ソウル大学校が設けており、講師は大学院卒の比較的若い人達である。会話より読解、文法中心の傾向がある。初級、中級1・2、高級の4つの級よりなる。授業時間は月曜から金曜までの9:00~13:30で、各級10週間、年間4学期からなる。授業料は1学期につき300,000ウォンである。

その他、コリア・ヘラルド (Tel:756-7711) 等が英語で韓国語を教えている。

#### (ロ) 個人教授

当地大学の韓国人学生より韓国語のレッスンを受けている館員も多い。講師が学生の場合、日本語の知識不足や教授法の未熟さにより長期間続けても実績のあがらないケースが多いが、自宅での予復習を十分にやれば上達するケースが多いようである。

なお料金は1時間当たり8,000ウォン~1万ウォン程度である。

### (2) 交際・マナー

(イ) 韓国には儒教的な考え方が強く根付いており、年齢による上下差別は日本以上に厳しい。例えば目上の人の前では勧められないかぎり煙草を吸わない傾向があるが、こうした習慣は現在の西洋化の勢いで徐々に薄れつつある。一般に、幼い頃から教え込まれてきたため形式的なマナーを重んずるが、内容的には公衆道徳やエチケットといったものは等閑にされている感がある。

(ロ) 当国は北朝鮮と軍事的に対峙しているため安全保障に特に神経を遣っている。一般韓国人の前で共産主義を礼賛したり、現政府を誹謗する発言は、徒に韓国人を刺激する結果を招く。

また日帝時代以来の反日感情は根強く残っており、直情的な韓国人の神経を逆撫です

るような言動は避けたほうがよい。例えば韓国人は日本人が自分たちを朝鮮人と呼ぶことを嫌うし、街頭で人にいきなり日本語で話し掛けることもいけない。

(ハ) 韓国人は贈り物をよくし、特に旧暦の8月15日にあたる秋夕(チュソク)やクリスマス、また旧暦の正月等に多い。館員の場合は洋酒、日本製品、カレンダーを知人に贈るものが多くこれが、社交の重要なポイントとなっている。

### (3) 外交団クラブ

当地の外交団クラブにはUnited States Embassy Association Club(略称U.S.E.A.、通称Embassy Club)があり、食堂、図書館等の施設を家族ぐるみで利用することができる。

入会手続きは当館担当書記官を通して行なうことができ、申し込み用紙に所定の事項を記入し、年会費100ドル、外務部発行の身分証明書のコピー等を添えて提出する。

### (4) レストラン

レストランを網羅的に挙げることは本手引きの趣旨ではないが、公用の案内等に利用することを念頭において主要なものを列記すれば、次のようになる。

#### (イ) 和食

弁慶(ロッテ・ホテル内)	Tel:771-10
桃山(ロッテ・ホテル内)	771-10
寿(プラザ・ホテル内)	771-22
有明(新羅ホテル内)	233-3131
源氏(ヒルトン・ホテル内)	753-7788
石亭(シェラトン・ウォーカーヒル・ホテル内)	453-0121
寿司朝(朝鮮ホテル内)	771-05
栄(コリアナ・ホテル内)	730-8611
金ソル門(ソーリン・ホテル内)	732-0181
和光(大韓生命63ビル56階)	784-6363(Ext.6580)
味兆利	778-1131
二和	753-4442
田八(ニュー国際ホテル内)	732-0161

#### (ロ) 洋食

PRINCE EUGENE(ロッテ・ホテル内)	Tel:771-10
ELYSEE(プラザ・ホテル内)	771-22
LA CONTINETALE(新羅ホテル内)	233-3131
SEASONS(ヒルトン・ホテル内)	753-7788
SELLADON(シェラトン・ウォーカーヒル・ホテル内)	453-0121

9TH GATE	771-05
LA CANTINA	777-2579
BEAR HOUSE	762-1447
外交クラブ	752-5629
PINE HILL	266-4486

(ハ) 韓国料理

鮑石亭 (ロッテ・ホテル内)	Tel:771-10
荘園	732-7881
大苑閣	762-0161
龍水山	732-3019
又来屋	265-0151
迎賓ガーデン	732-3863
楽源ガーデン	664-3401
三多島	734-2435
一億兆	734-1678
韓一館	732-3735

(ニ) 中華料理

東宝城	Tel:755-2727
国賓 (台湾大使館前)	776-2835
八仙 (新羅ホテル内)	233-3131
夜来香 (朝鮮ホテル前)	752-3201

(5) スポーツ・レジャー施設

(イ) ゴルフ場

平日なら大体プレー可能だが、土曜の午後と日曜及び祝日はメンバー・オンリーとなっていることからブッキングが難しい。料金は入場料、キャディーフィー、飲食費などを含め平日で7万ウォン、週末や祝日は9万ウォン程度となる。

安養 (アニャン) C.C.	Tel:(02)857-1314, (0343)52-2121
鳥山 (オサン) C.C.	(0339)8-4481
冠岳 (クワナク) C.C.	(0339)8-3711, (02)252-3171
水原 (スウォン) C.C.	(02)233-5597, (0331)8-3403
ナムソウルC.C.	(02)252-3135
ニュー・コリアC.C.	(02)353-0091
韓陽 (ハニャン) C.C.	(032)389-0901/6

仁川（インチョン）国際C.C.	(032)522-5185
プラザC.C.	(0335)32-6761/5, (02)745-5331/2
陽智（ヤンジ）C.C.	(0335)32-3891/3, (02)252-3023
驪州（ヨジュ）C.C.	(0337)82-5881/2
ロイヤルC.C.	(0351)40-1515
道高（トゴ）C.C.	(0418)42-0271/2
東萊（トンネ）C.C.	(051)513-0101/4
釜山（プサン）C.C.	(051)56-0707
大邱（テグ）C.C.	(053)353-0033
慶州朝鮮（キョンジュチョソン）C.C.	(02)753-0300, (0561)2-9601/19
八峰（パルボン）C.C.	(0653)3-9488
儒城（ユソン）C.C.	(042)822-7103
吾羅（オラ）C.C.	(02)776-5533, (064)27-2621/2
漢城（ハンソン）C.C.	(0331)8-4511

(ロ) スキー場

ソウル近郊に1カ所、江原道に2カ所、全羅北道、忠清北道に1カ所ずつあり、いずれもスノー・メーカー・マシンを備え、シーズンは12月から3月まで。貸しスキー、貸し靴も用意されている。夜間照明設備を持ち、ナイター・スキーも楽しめる。

1. 龍平（ヨンピョン）スキー場（江原道平昌郡）

京釜高速道路シングル分岐点から領東高速道路に入り原州・江陵方面に向かい、横溪インター下車約10分。発旺山麓にあり、別名ドラゴンとも呼ばれ、有名。

スロープ16面、リフト11機。ソウルから約4時間。

2. アルプス・スキー場（江原道高城郡）

ソウル市内から国道44号線で途中ヤンピョン、ホンチョン、インジェ、ウォントンを経由し、ハンゲリとの中間を左折。雪岳山に近い。

スロープ9面、リフト4機。ソウルから約5時間。

3. 天摩山（チョンマサン）スキー場（京畿道南楊州郡）

ソウル市内から国道46号線をカピョン、チュンチョン方面に向かい、途中クリ、ミグムを経由し、マチトンネル通過後約1KM地点の交差点を左折。

スロープ5面、リフト4機。ソウルから約1時間。

4. バースタウン・スキー場（京畿道抱川郡）

85年12月オープン。クリからテゲウォンを経て国道47号線を北上。

スロープ7面、リフト5機。ソウルから約1時間20分

5. 茂朱 (ムジュ) スキー場 (全羅北道茂朱郡)

90年12月オープン。京釜高速道路コンドンインター下車約1時間。

スロープ17面、リフト8機。ソウルから約4時間

6. 陽智 (ヤンジ) スキー場 (京畿道龍仁郡)

京釜高速道路シングル分岐点から領東高速道路に入り原州・江陵方面に向かい、陽智インター下車約5分。龍仁ゴルフ場に隣接している。

スロープ6面、リフト3機。ソウルから約1時間

7. オーロラバレースキー場 (忠清北道中原郡)

中部高速道路ハルボヤンインター下車約1時間。スアンボ温泉にも近い。

スロープ7面、リフト3機。ソウルから約2時間30分

(ハ) プール

市・私営プールやホテルの専用プールがある。前者の入場料は安く後者は割高である。ホテルのプールはアスレチック・クラブの会員にならないと利用する事が難しい。

(ニ) スケート場

市内のチャムシルにあるロッテワールドにはオールシーズンの室内スケート場がある。入場料は3,000ウォン、かしぐつ料は1,500ウォンである。 Tel:411-3000(代)

(ホ) アスレチック・クラブ

ソウル市内の主要ホテル等には会員制のアスレチック・クラブがあり、プール、ジム、テニス・コート、サウナ、その他の設備が整っている。人気のあるクラブは次の通り。

ロッテ・ワールド・スポーツ Tel:418-7190, 411-4400/5

シルラ・ヘルス・クラブ 233-3131(Ext. 521), 2303-521

ハイヤット・フィットネス・センター 797-1234(Ext. 82395)

(ヘ) 映画・演劇・音楽会

映画は市民の大きな娯楽であり、多数の常設館がある。料金は3,500~4,000ウォン。韓国映画が多いが、洋画や香港映画も上映され、韓国語字幕が出る。日本映画はまだ輸入を許可されていない。

演劇は言葉の関係で日本人には理解が難しい。古典舞踊は観賞する程度である。

音楽会も定期的に催され、最近では外国からも音楽家がしばしば訪れている。

1.3 携行品等

(1) 服装・衣類

(イ) 当地での服装は日本とほぼ同じであり日本の衣類をそのまま持参すれば十分である。

なお冬季は非常に寒さが厳しく、防寒衣類も持参するのが良いと思われる。

## (2) 電気製品

韓国産の電気製品も最近では品質が良くなってきており、日本人の使用に耐えるものもある。何を日本から持ち込み何を現地調達するかは個人の好みにもよるが、ステレオ（特にCDプレーヤー）、ビデオ、カメラ等の精巧なものは持参するほうがよさそうである。なお当地の家庭内の電圧は110ボルトもしくは220ボルトである。100ボルト用の電気製品を110ボルトで使う場合、殆ど支障なく作動はするがデリケートなものについては、変圧器を使用したほうが良いと思われる。

## (3) その他

化粧品、こどものパーティ用小物、文房具、アクセサリ等は持参したほうがよい。

## 1.4 通信事情

### (1) 本邦との間に要する時間

航空便による場合、封書で4日から1週間(速達は3~4日)、小包みは約1週間である。

船便の場合は、封書が1週間から10日、小包みは20日から1ヵ月以上かかる。

### (2) 郵便の送達安全度及び送達状況

国内、国際郵便とも送達の安全度は高い。なお小包みの場合、安全確認のため途中で開封されることがある。

## 1.5 写真撮影

軍事施設はすべて撮影禁止となっている。他にも禁止されている場所が多く、不審に感じた場合は警察官等に尋ねるほうがよい。また特に禁止されていなくても非常に汚いところ等常識的に考えて韓国人が撮られることを嫌がるような場所は、トラブルが発生する可能性が高く、遠慮したほうがよい。

## 1.6 生活上必要な電話番号

(1) 警察 112

(2) 消防・救急車 119

(3) 電話番号案内 114

(4) 国際電話の呼び出し（日本にかける場合）

001（国際電話呼び出し）+81（日本のカントリー・コード）+日本国内の番号  
（市外局番の最初の0は不要。なお 東京の局番は33）

## 1.7 その他

(1) 着任時のホテル事情・料金

着任後の引き継ぎ期間に滞在する宿舎として、当館館員は主に下記ホテルを利用している（いずれも1泊当たりの大使館割引価格、サービス料込み）。

ソウル観光ホテル（2級） Tel:735-9001

シングル ₩37,400(約52ドル)

ダブル ₩40,150(約56ドル)

ツイン ₩41,800(約58ドル)

ソーリン・ホテル（1級） Tel:732-0181

シングル ₩54,560(約66ドル)

ダブル ₩57,000(約70ドル)

ツイン ₩57,000(約70ドル)

## (2) 赴任荷物について

赴任荷物の輸送方法には旅客手荷物、別送荷物（アナカン）、船便等がある。船便の場合、港に到着したのち引取まで約1週間を要する。なお日本国内にて当地の配達業者を指定すると怠慢のために引取が大幅に遅れることが多いので、日本の業者に委託する際、ドア・ツー・ドアにせず直接大使館へ送るようにし、当国の港に入ったとの通知を受けてから業者に委託するとよい。宛先は次の通り。

MR. (MS.) \_\_\_\_\_

EMBASSY OF JAPAN

18-11 CHOONGHAK-DONG

CHONGRO-KU, SEOUL

REPUBLIC OF KOREA

なお必ず仁川(Inchon)荷揚げを指定すること。但し自動車は釜山(Pusan)揚げのほうが引取りやすい。

## (3) 査証取得について

赴任前に本人及び同伴家族につき韓国出先公館から外交査証を取得する必要がある。本人着任後、妻子を呼び寄せる場合も同様である。

館員の親族が一般旅券で当該館員を訪問するため渡航する場合には、必ず出国前に本邦にある韓国公館より短期査証を取得する必要がある。

## (4) 参考文献

韓国関係の書籍は最近多くなってきている。赴任前に読んでおくとよいと思われるものに次の書籍がある。○は館員で特に勧める人があったもの、\*は韓国における出版物を意味する。

### (イ) 一般・観光

『韓国＝大韓民国』 外務省アジア局 日本国際



『北朝鮮＝朝鮮民主主義人民共和国』 北東アジア課監修 問題研究所  
1986 ¥1,100

『韓国という国』 三谷静夫 世界の動き社 1981 ¥1,500

○『隣の国で考えたこと』 長坂覚 日本経済新聞社 1977

○『もっと知りたい韓国』 伊藤亜人編 弘文堂 1985 ¥1,800

『朝鮮・韓国を知る本』 別冊宝島89 1984 ¥980

\*『韓国ガイド』 エドワード・アダムズ ソウル国際観光文化社 1983 ¥10,000

○『朝鮮の政治社会』 グレゴリー・ヘンダーソン 鈴木沙雄、大塚喬重訳  
サイマル出版社 1973

『韓国』 ブルーガイド海外版 実業之日本社 1980 ¥10,000

『朝鮮半島の政治経済構造』 三谷静夫 日本国際問題研究所

『激動ソウル1500日——全斗煥政権への道』 田中哲夫 成甲書房

『朝鮮——風土・民族・伝統』 中村栄考 吉川弘文館

○『軍部』 別冊宝島89 ¥980

『韓国古寺ガイド』 李建鎔 国際仏教徒協議会

『私の韓国陶磁器遍歴』 宗左近 新潮選書

#### (ロ) 歴史

『朝鮮史』 武田幸男編 山川出版社 1985 ¥3,000

『古代朝鮮』 井上秀夫 NHKブックスNo.172 1977

『古代朝鮮と日本』 朴炳植 泰流社

『韓国現代史』 林建彦 至誠堂 1967

『日本と朝鮮の二千年』 上田正昭他 大阪書籍 1985 ¥1,200

『日本による朝鮮支配の40年』 姜在彦 大阪書籍 1983 ¥1,200

『閔妃暗殺』 角田房子 新潮社

『朝鮮戦争』 神谷不二 中公新書93 1966 ¥440

『韓国戦争一千年』 白善煒 ジャパンミリタリーレビュー

『朝鮮終戦の記録』 森田芳夫 原書房

『日韓併合小史』 山辺健太郎 岩波新書 1968

『日本統治下の朝鮮』 山辺健太郎 岩波新書 1979

『韓国史跡の旅』 横田健一編 創元社

『朝鮮近代史年表』 新東亜編 鈴木博訳 三一書店

○『流れのままに』 李方子 啓佑社 ¥1,500

(ハ) 文化・社会等

- 『常識的朝鮮論のすすめ』 田中明 朝日新聞社 1981  
『韓国人の意識構造』上・下 李圭泰 東洋図書出版 1978  
『韓国人の社会的性格』 崔在錫 学生社 1977  
『韓国社会を見つめて』 黒田勝弘 亜記書房 1984 ¥1,300  
『ソウル発、これが韓国だ』 講談社 1985 ¥1,300  
『近い国ほどゆがんで見える』 林建彦 サイマル出版社 1982  
『恨の文化論』 李御寧 学生社 1978  
『普通の人びとの時代』 廬 泰愚 サイマル出版社  
『風濤』 井上靖 新潮社 1971  
『韓国人の心』 李御寧 学生社  
『南男北女』 朴承薫 産業能率大学出版部  
『韓国人の挑戦』 豊田有恒 詳伝社NON BOOK  
『慶州ナザレ園』 上坂冬子 中央公論社  
『ソウル街ものがたり』 黒田勝弘 NESCO  
○『ごく普通の在日韓国人』 姜信子 朝日新聞社

(ニ) 経済

- 『韓国の企業、人と経営』 服部民夫他 日本経済新聞社 1985 ¥1,600  
『韓国の経済金融・証券市場』 後藤猛 成甲書店 1985 ¥1,200  
『朝鮮銀行史』 朝鮮銀行史研究会編 東洋経済社  
『韓国人の経済学』 宝谷克実 ダイヤモンド社  
『韓国 経済力の読み方』 間部洋一 日本実業出版社  
『韓国経済50のポイント』 日本経済新聞社編  
『現代韓国の経済分析』 渡辺利夫 勁草書房 1982

(ホ) 韓国語・文学等

- 『朝鮮語のすすめ』 渡辺吉鎔他 講談社現代新書614 1981 450  
○『はじめての朝鮮語』 渡辺吉鎔他 講談社現代新書687 1978 420  
○『NHKハングル入門』 梅田博之 日本放送出版協会  
『韓国現代文学13人集』 古山高麗雄編 新潮社  
『現代韓国文学選集』(全5巻) 金素雲訳 冬樹社  
『ハングルの花いちもんめ』 石花賢 三修社  
『朝鮮語を学ぼう』 管野裕臣 白水社  
『朝鮮語の入門』 管野裕臣 白水社  
『朝鮮民謡選』 金素雲 岩波書店

# 病院リスト

\*このリストは日本人会誌「そうる」に掲載された「私たちが使いやすい病院リスト」を参考に作成した。なお、リストの掲載基準は日本語による診察が可能か否かであり、医療技術の高さ等は必ずしも明らかでない。

医療機関名	所在地	電話	医師名	専門	診療時間	日本語	備考
順天郷病院 スチオンキン	意山区漢南洞 657	794-7191/8 (代表番号) 794-7451 (前課直通番号)	南 澤昇 (代表番号)	総合病院	平日 08:30-12:30 土曜 13:30-17:30 08:30-12:30	可	緊急指定病院。当院の定期健康診断も行っており日本人会の指定病院でもある。当院の利用を多くし、科金の支払いは1ヵ月毎に病院より当院会計科に請求があり当院会計にて支払ができる。
第一病院	中区墨井洞 1街23	274-1231 (代表番号) 273-0923 (文 彦) 代表番号(内線576) (田 先生) 代表番号(内線276) (伊 先生)	文 彦 永 茂 灰 晴 世 玉	総合病院 小児科 産婦人科 外科	平日 09:00-12:00 14:00-17:00 土曜 09:30-12:00	可 可 可	妊娠中の検査は日本同様可
高麗病院	鍾路区平洞 108	739-3211 (代表番号) 738-1439 (金課直通番号)	金 院務課長	総合病院	平日 08:30-12:00 13:30-17:00 土曜 08:30-12:00	可	日本人会の指定病院
延世大付属 セブランス 病院	西大門区新村	392-0161 (代表番号) 392-3404(7* -リンクリニク)	朴 仁連 (院長)	総合病院	平日 08:30-12:00 13:30-17:00 土曜 08:30-12:00	不 可	外国人のためのフオーリン・クリニクがあり、英語が通じる。(日本語は通じない)

医療機関名	所在地	電話	医師名	専門	診療時間	日種	備考
ソウル大学 病院	鍾路区延建洞 1	760-2114 (内線特) 760-2373 (教務特)	盧 院長	総合科	平日 09:00-12:00 土曜 13:00-18:00 09:00-12:00	可	日本人会誌には掲載されて いないが、ソウルの代表的 総合病院であるので本リス トには掲載した。
江南聖母病 院	江南区盤浦洞 505	593-5141 (内線特) 590-3020 (教務特)	キム 金 院長	総合科	平日 09:00-11:30 土曜 12:30-17:00 09:00-12:00	可	
趙 医院	竜山区東部二 村洞 社マソヨ 11棟204	794-1801	チョ 趙 燦成	内 科 小児科	平日 09:00-12:00 土曜 14:00-18:00 09:00-12:00	可	往診可
キムジエギ 金在珪医院	竜山区東部二 村洞 ローヤナ A棟205	793-9900	キム ジエ 金 在珪	内 科 小児科	平日 09:00-12:00 土曜 14:00-18:00 09:00-12:00	可	東部二村洞のみ往診可
コクワン 高克勲病院	鍾路区社稷洞 237-1	735-6131	コク ワン 高 克勲 (龍大龍珠科)	小児科	平日 09:00-12:00 土曜 14:30-17:00 09:00-12:00	可	
イビョン 李炳允歯科	竜山区東部二 村洞(大橋7ハ トの 南)	793-4537	イ ビョ ン 李 炳允	歯 科	平日 09:30-12:00 土曜 13:00-18:30 09:30-12:00 13:00-15:00	可	
チン 崔尚烈歯科	竜山区東部二 村洞 社マソ 11棟 南	795-8100	チン ソ ン 崔 尚烈	歯 科	平日 09:00-12:00 土曜 14:00-18:30 09:00-12:00 14:00-16:00	可	

医療機関名	所在地	電話	医師名	専門	診療時間	日曜	備	考
李春根歯科	竜山区漢南洞	793-0455	李春根	歯科	平日 10:00-12:00 金曜 15:00-18:00 土曜 15:00-16:00 10:00-12:00	可		
張 歯科	中区南大門路 KALDI(ミバ横) 2F	752-1520	張智相	歯科	平日 10:30-12:00 土曜 14:00-18:00 10:30-12:00 14:00-15:00	可		
鄭晋求歯科	竜山区梨泰院洞	798-7916	鄭晋求	歯科	平日 09:00-12:00 土曜 13:00-18:30 休 日 あり	日本語 不可 英語訂	治療設備良好、治療費高	
奇昌徳歯科 奇昌徳医院	鍾路区弼雲洞 142	738-4776	奇昌徳	歯科	平日 09:30-12:00 土曜 14:00-17:00 休 日 あり	可	予約制	
許萬旭歯科	西大門区滄川洞 508-1 (東 橋洞の隣りのそば)	334-7775	許萬旭	歯科	平日 09:30-12:30 土曜 14:30-18:00 09:30-12:00 14:00-15:00 木曜 14:30-18:00	可	予約制	
車 病院	江南区駅三洞 (三井村の西の角)	557-2611	車光烈	産婦人科	平日 09:00-12:00 土曜 13:30-18:00 09:00-14:00	可	院長の診察(09:30-12:00)は要予約	
ソウル産婦人科病院	江南区論峴洞 (本船の南の角)	545-4057	文英基	産婦人科	平日 10:00-13:00 土曜 14:00-17:00 10:00-12:00	可		

医療機関名	所在地	電話	医師名	専門	診療時間	日曜	備	考
ソニン 耳鼻咽喉科 病院	竜山区東部二 村洞 31番2階	794-4712	イ 李 南都	耳鼻 科	平日 09:30-12:30 14:00-18:30 土曜 09:30-12:30 14:00-16:00	可		
中央大付属 竜山病院	竜山区漢江路 3街(旧 龍院)	798-9701/5	イ 盧 炳賢	皮膚 科	平日 09:30-12:00 13:30-16:00 土曜 09:30-11:00	可		
益昌壽眼科 医院	鍾路区慶雲洞 (龍院の隣り)	735-5053	チ 崔 昌壽	眼 科	平日 09:30-13:30 14:30-18:00 土曜 09:30-13:30 14:30-16:00	可		
慶熙大学校 医大付属 漢方病院	東大門区回基 洞 1	966-5191	キ 金 英信	漢方 科	平日 08:30-11:30 13:30-16:00 土曜 08:30-12:00	可	金先生の診察時間、月・火・水・土曜は午前中、 金曜は午後、木曜は休みである。	
活気治療院	銅雀区鷲梁津 洞119-73 慶南ビル 4 階	815-3356	ア 安 益秀	雑症	月-金 09:00-18:00 土曜 09:00-15:00	可	日本人言語には掲載されていません。 住所可。	
梨泰院家畜 病院	竜山区梨泰院 洞(龍院2階隣隣)	794-4945 797-6677	ソ 徐 東一		月-土 09:00-12:00 13:00-19:00	可	犬猫一時預かり可	

## 4. 韓国側提出資料





勤勞者 職業病豫防 韓.日技術協力事業 日本調査團 來韓 會議資料

'92. 2

韓 國 產 業 安 全 公 團



Project 運營體制組織圖

總括責任機關：勞動部  
 總括責任者：產業安全局長  
 補助機關：產業保健課

實施責任機關：韓國產業安全公團  
 (出捐機關)  
 實施責任者：理事長  
 補助機關：技術理事  
 (產業保健部長)

技術移轉場所  
 產業保健研究院 (傘下機關)  
 責任者：研究院長

實施責任機關：大韓產業保健協會  
 (社團法人)  
 實施責任者：協會長  
 補助機關：本部專務理事

技術移轉場所  
 本部中央分析實驗室 (Seoul所在)  
 中央產業保健Center

實施責任機關：順天鄉大學  
 (學校法人)  
 實施責任者：順天鄉大學教職院長  
 補助機關：順天鄉大學病院  
 順天鄉大學研究所  
 集團產業保健管理研究所名譽所長

技術移轉場所  
 龜尾Center

## (2) 技術移轉場所の概要

### ① 場所の住所 および 通信手段

技術移轉場所	住 所	電 話	FAX
韓國産業安全公團本部	140-702 Seoul特別市 龍山區 漢江路 2街 191 國際Center Building	(02) 798-8801	(02) 795-4872
産業保健研究院	403-120 仁川直割市 北區 九山洞 34-3番地	(02) 792-3176 (産業保健部) (032) 518-0861	(032) 518-0867

### ② 場所 周邊地圖 (建物) 配置圖, 面積 : 別添

### ③ 施設・機資材 新・増設・改修計劃

技術協力分野	施設・機資材名	數量	區 分 (新・増・改修)	着手豫定時期	完了豫定時期
局所排氣裝置	o Food	5	新設	'93. 6	'93. 12
	o Duct	5	"	"	"
	o 送風機	5	"	"	"
	o 排出施設	2	"	"	"
(供與裝備)	o 局所排氣裝置	1	供與裝備	'93	'93 ~ '94
	o 微風速計	1	"	"	"
	o Smogtester 備品 1set	1	"	"	"
保護具檢定 (既保有)	o 防毒mask 除毒能力 試驗裝置 (Gas Mask Performance Testing Apparatus)	1 sys- tem	新 設	'91. 10	'92. 6
	o 面罩機密試驗機 (Gas Mask Tightness Testing Apparatus)	1 set	"	'92. 2	'92. 6
	o 淨化筒氣密試驗機 (Canister Air Tightness Testing Apparatus)	1 set	"	'92. 2	'92. 6

技術協力分野	施設, 機資材名	數量	區分 (新, 增, 改修)	着手豫定時期	完了豫定時期
	o 通氣抵抗試驗機 (Pressure Drop Testing Apparatus)	1 set	新設	'92. 2	'92. 6
	o 粉塵捕集效率試驗機 (Smoke Removing Efficiency Testing Apparatus)	1 set	"	'92. 3	'92. 6
	o 酸性Gas用 濃度計	1set	"	'93. 2	'93. 12
	o Hydrogen Cyanato 濃度計	1set	"	'93. 2	'93. 12
	o 黃化水素用 濃度計	1set	"	'93. 2	'93. 12
	o Methy Iodide (CH <sub>3</sub> I)用 濃度計	1set	"	'94. 2	'94. 12
	o 活性炭等 材料研究 裝備	1system	"	'95. 2	'95. 12
變異原性試驗 (既保有)	o 振湯培養器	2	確保		
	o 高壓蒸氣滅菌器	2	"		
	o 濾過滅菌器	2	"		
	o 超低溫槽	1	"		
	o 冷却高速遠心分離機	1	"		
	o Clean Bench	1	"		
	o 乾燥機	1	"		
	o 純水製造裝置	1	"		
	o 培養器	2	增	'92. 5	'92. 5
	o 乾熱滅菌器	1	新	"	'92. 5
	o 冷藏庫	2	增	"	'92. 5
	o 超精密化學天枰	1	新	"	'92. 10
	o 光電分光光波計 (濁波計)	1	新	"	'92. 10
	o pH meter	1	新	"	'92. 10
	o Homoginater	2	增	"	'92. 10

技術協力分野	施設、機資材名	數量	區分 (新、增、改修)	着手豫定時期	完了豫定時期
	o 實體顯微鏡	2	增	"	'92. 10
	o 超音波pipet 洗淨機	1	新	"	'92. 10
	o inverted 顯微鏡	1	新	"	'92. 5
	o CO <sub>2</sub> 培養器	1	新	"	'92. 10
	o heating block	1	新	"	'92. 5
	o Slide 加溫機	1	新	"	'92. 5
	o 暗室箱子	1	新	"	'92. 5
	o 無菌實驗室	1	新	'93	'95. 6
吸入試驗 (既計劃)	o 吸入毒性研究凍	1凍	新設	'93.	'95. 6
(供與裝備)	o 有機容濟 Gas 暴露 裝置 - 吸入Chamber 本體 - Gas 發生供給裝置 - GC - 給排氣 處理裝置 - 制御盤 - 個別制御盤 - 配管, 配線材料 - 其他 附帶裝置 - 給水, 給飼, Gage類	1	供與裝備	'95	'95 ~ '96
	o 高壓蒸氣 感菌裝置 (SRSP-11-特形) - AUTO GRAB - 蒸氣Boiler	1	供與裝備	'95	'95 ~ '96
	o CAGE WASHER (SW-3KD-特別) - 本體	1	供與裝備	'95	'95 ~ '96

技術協力分野	施設、機資材名	數量	區分 (新.增.改修)	着手豫定時期	完了豫定時期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Clean Rack(NCR-V)</li> <li>- 本體</li> <li>- FLOOR UNIT</li> <li>- GAGE</li> <li>- 附屬品</li> <li>○ 器具類</li> <li>- 金剛 GAGE 豫備 (SUS 304)</li> <li>- 處置用 WAGON (SUS 304)</li> <li>- 電子天秤 (動物用)</li> <li>- 手切乾燥機 (SUS 304)</li> <li>- Potable 消毒器 (7ℓ/分)</li> <li>- 作業だい車(600×900, SUS 304)</li> <li>- 洗淨器 (5Kg)</li> <li>- 乾燥器 (3.3Kg)</li> </ul>	1	供與裝備	'95	'95 ~ '96
病理検査 (既計劃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 光學顯微鏡</li> <li>○ 解剖顯微鏡</li> <li>○ 組織剝切器</li> <li>○ 組織捕埋裝置</li> <li>○ 實驗臺</li> <li>○ 冷凍組織剝切機</li> <li>○ 真空裝置</li> <li>○ 透過電子顯微鏡</li> <li>○ 周寫電子顯微鏡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>'95. 1</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>'95. 12</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> <li>"</li> </ul>

技術協力分野	施設・機資材名	数量	區分 (新・増・改修)	着手豫定期	完了豫定期
(供與裝備)	o 臨界点乾燥機	1	新	'95. 1	'95. 12
	o Ion sputter	1	"	"	"
	o Ultramiorotome	2	"	"	"
	o 寫眞準備裝置	1	"	"	"
	o 病理検査室	1	"	"	"
	o 自動血球計算機	1	供與裝備	'95	'95 ~ '96
	o 血液生化學自動分析裝置	1	"	"	"
	o 顯微鏡	1	"	"	"
	o Mikrotom	1	"	"	"
	o Parapin浸透器(VIP)	1	"	"	"
	o 包埋senter	1	"	"	"
	o 解剖だい	1	"	"	"
	o 寫眞撮影裝置	1	"	"	"
	o 長期浸透器	1	"	"	"
労働衛生研究 基盤造成 (供與裝備)	o 有害化學物質の 皮膚吸収測定技術 - Gas Mass 自動 分析計 - 液體 Chromatogr- ph 自動分析計 - 簡易皮膚透過用 測定裝置 - 凍結組織試料 作成裝置 - MOUSE用人工 呼吸器 - Gas狀物質の 皮膚暴露裝置	1	供與裝備	'93	'94



技術協力分野	施設・機資材名	数量	區分 (新・増・改修)	着手豫定期	完了豫定期
	○ 職業性末梢神経障害の電気生理學的評價技術 - 誘發電位測定装置	1	供與裝備	'93	'94
	○ 『視覚の労働生理學』と人間工學 - 眼球運動解析装置 - 調節機能解析装置 - 瞳孔運動計測装置	1	供與裝備	'93	'94

④ 機資材 輸送船(受取人) : 科學技術處が受取人として、労働部の要請によって  
韓國産業安全公園が引受

### (3) Project Site別 Count Part 配置計劃

技術協力分野	姓名	年齢	職務	資格	経歴年数	日本Count Part と職務分擔内容	日本語能力 (上・中・下)
労働衛生一般	鄭奎澈	63	院長	醫師	30	産業保健全般	上
作業環境測定 局所排氣装置	吳世民 充員 豫定	52	産業衛生研究 室長	藥學博士	14	作業環境管理分析 一般	下
保護具檢定	李象基	35	防毒Masl 檢定擔當	碩士	2	檢定方法び 活性 炭 活用方案	中
變異原性試験	全香淑	30	變異原性試験	博士過程 修了	3	變異原性 試験方法	下
吸入試験	張毅然	36	産業毒性研究	藥學博士	3	吸入試験 全般	下
病理検査	孟承希	31	職業性 疾病 判定	碩士	3	病理検査	下
健康診断管理 (精度管理)	姜星圭	33	産業毒性研究	醫師	3	臨床精度管理	下
労働衛生研究 基盤 造成	鄭浩根	46	職業病Center 所長	醫師	19	研究全般	中

o 研究院 採用計劃('92)

分野	計	採用 豫定 人員				
		1給	2給	3給	4給	5給
總計	11	2	3	5	1	
局所排氣裝置	2		1	1		
吸入試驗	2	1		1		
病理檢查	2		1	1		
健康診斷管理	5	1	1	2	1	

(4) 職員配置計劃(採用)

計	Typist	運轉員	通譯	相對役	備考
4	1	1	1	1	

(5) 豫算

o '92年度 Project 關聯 豫算

技術移轉場所名	區分	'92 豫算 内譯		
産業保健研究院	計	o 保護具 檢定 豫算 (單位：千圓)		
		品名	'92 確保豫算	備考
		計	93,858	
		o 面體機密試驗機	29,640	
		o 淨化筒機密試驗機	12,360	
		o 通氣抵抗試驗機	34,458	
		o 粉塵浦集效率試驗機	16,000	
		o 中央實驗だい	700	
		o 試薬器具保管函	700	
※ 防毒Mark 際毒能力試驗裝置は '91年 既 發注				

技術移轉場所名	區分	'92 豫算 内譯		
		o 變異原性試驗 (單位：千圓)		
		品名	'92 確保豫算	備考
		計	44,300	
		o inverted 顯微鏡	10,000	'有害性検査室運営 と'變異原性試驗 方法について化學 物質'毒性評價研究' 豫算'の兼用
		o 酸度測定機	3,000	
		o 濁度計	3,000	
		o 試験液分注機	300	
		o 化學天秤	6,000	
		o CO <sub>2</sub> 培養器	10,000	
		o 超音波pipet 洗滌器	3,000	
		o 培養器	2,000	
		o 乾熱滅菌器	2,000	
		o heating block	1,000	
		o Slide 加温器	1,000	
		o 暗室箱子	800	
		o Vortex mixer	700	
		o 冷蔵庫	1,500	
		o 吸入毒性 (單位：千圓)		
		品名	'92 確保豫算	備考
		計	3,000	
		o 吸入毒性研究所 實態調査(國內,美國)	3,000	'毒性試験 實態調査 ちよび 産業保健學的 活用方案'研究の 一部 豫算 利用

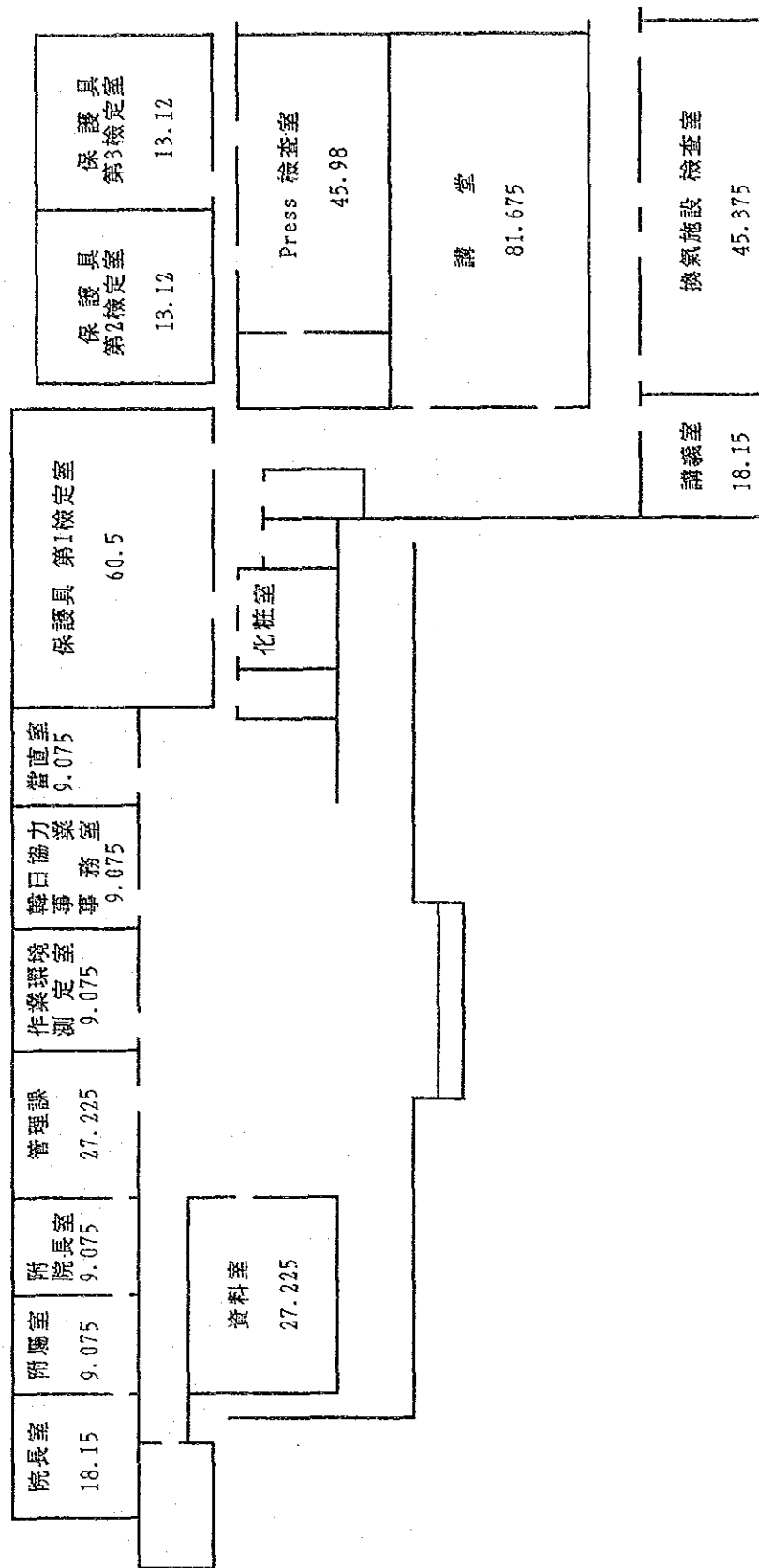
○ 施設、機資材 新、増設、改修 豫算 確保 計劃

(單位：千圓)

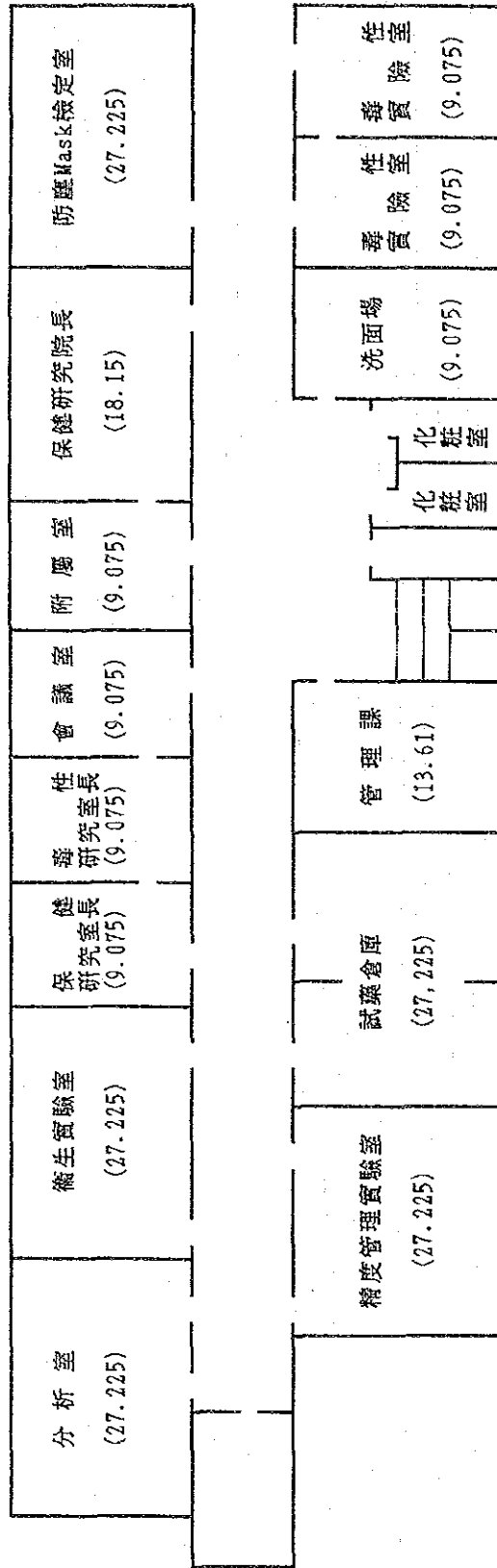
區 分	計	'92	'93	'94	'95	'96
○ 局所排氣裝置	90,000		40,000	30,000	20,000	
○ 保護具檢定 (防毒Mask)	229,485		52,485	27,000	150,000	
○ 變異源性試驗	20,000		20,000	-	-	
○ 吸入試驗 (建物新築計劃によつて 豫算 確保)						
○ 病理檢査 (建物新築計劃によつて 豫算 確保)						

※ 研究院 建物新築：'92 下半期 着工 - '94. 12 完工 計劃

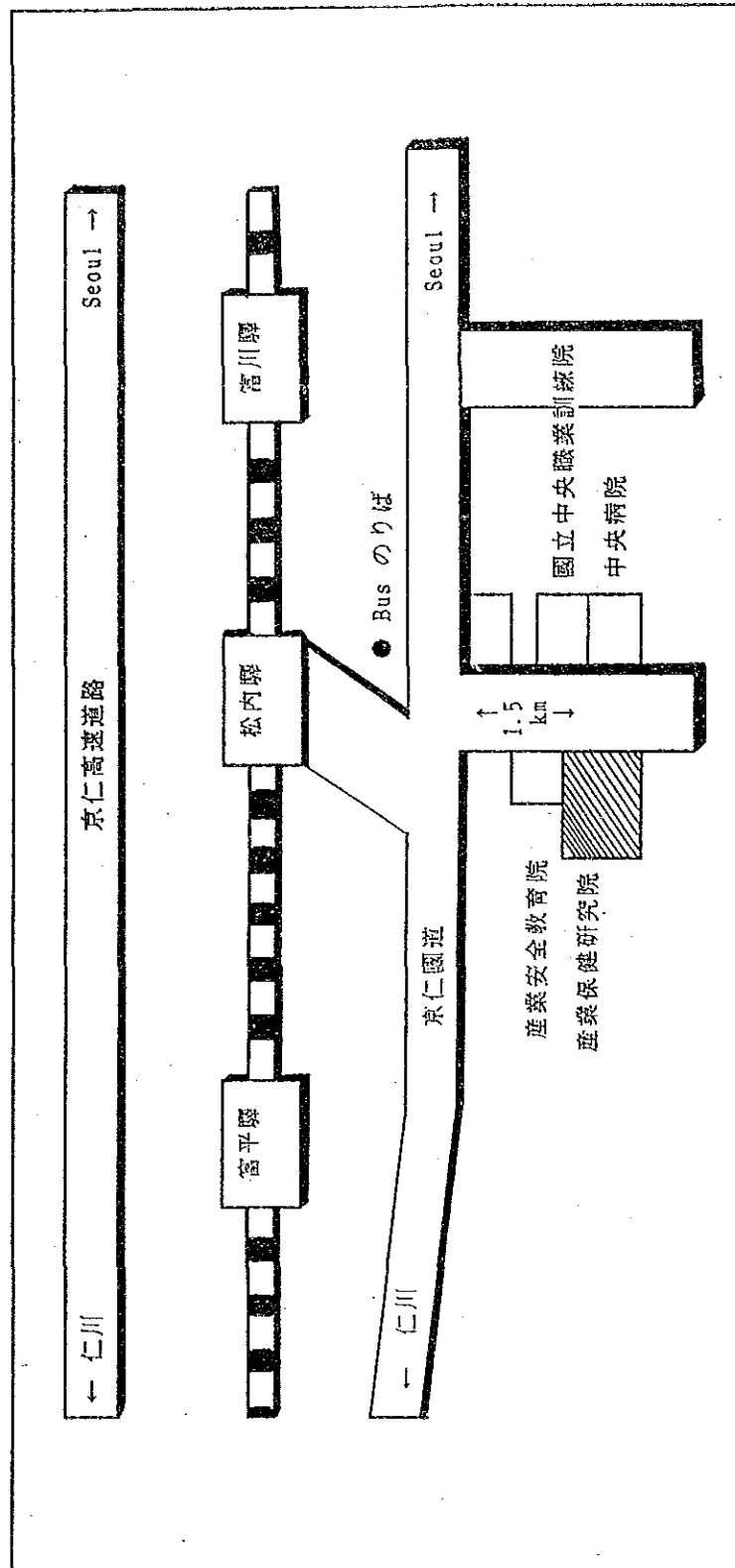
# 產業保健研究院 平面圖 (1層)



# 產業保健研究院 平面圖 (3層)



# 産業保健研究院 附近 略圖







# 會議資料

(韓日協力事業)

1992. 2. 27

韓國產業安全公團  
產業保健研究院



# 目 次

## 1. 組織 및 定員

- 가. 組織
- 나. 現人員
- 다. 研究人力 保有現況
- 라. '92年 人力充員計劃
- 마. 段階別 擴充計劃

## 2. 施設

- 가. 現況
- 나. 研究院 新築計劃 (産業安全保健綜合센터에 包含)

## 3. '92年 研究事業

## 4. '92年 豫算

## 5. 韓日協力事業에 관한 産業保健研究院의 意見

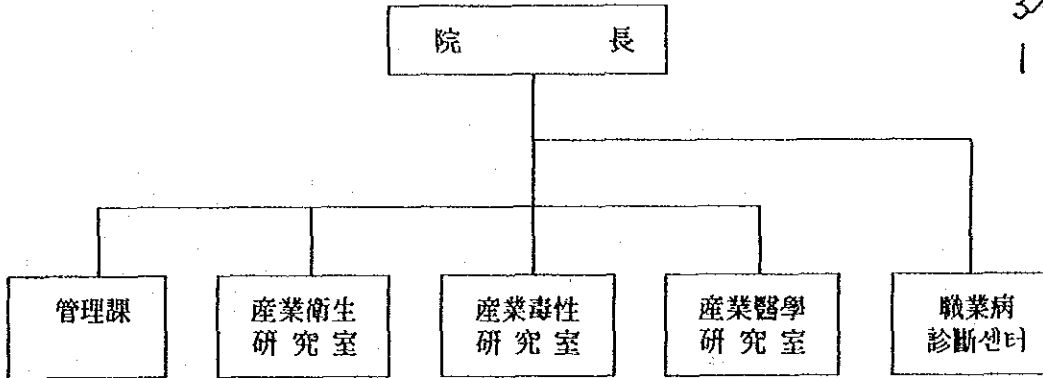
- 가. 專門家 派遣
- 나. C/P 日本研修
- 다. 機材 供與
- 라. 기타



# 1. 組織 및 定員

가. 組織 (1課 3室 1센터)

1027-  
3研究室  
1課



나. 現人員

## 産業保健研究院

區分	計	別定職	管理職	技術職	研究職	技術職 研究職	技能職
計	25	1	3	4	6	5	6
管理課	7	1	3	-	-	-	3
産業衛生	7	-	-	2	2	2	1
産業毒性	3	-	-	1	1	1	
産業醫學	2	-	-		1	1	
職業病診斷	6	-	-	1	2	1	2

安全研究院

## 保護具檢定課

計	別定職	管理職	技術職	研究職	技術職 研究職	技能職
8	-	-	6	-	-	2

다. 研究人力 保有現況

所 屬	姓 名	責任研究員	最 終 學 校	學 位	資 格 免 許
	鄭 奎 澈	院 長	서울大醫大	博士 (醫學)	醫師·豫防醫學專門醫
産業衛生 研究 室	吳 世 敏	室 長	中央大 大學院	博士 (藥學)	産業衛生 技士 1級
	吳 道 錫	研 究 員	高麗大 大學院	博士過程修了 (理學)	
	崔 鎭 春	研 究 員	中央大 大學院	博士 (理學)	
	金 基 雄	研 究 員	順天鄉大 大學院	碩士 (理學)	
	朴 杜 用	技 術 4 級	서울大 保健大學院	碩士 (保健學)	
	金 慶 美	技 術 5 級	嶺南大		
産業毒性 研究 室	張 栽 然	責任研究員	서울大 大學院	博士 (藥學)	
	全 香 淑	研 究 員	梨花女大 大學院	博士過程修了 (理學)	
	孟 承 希	技 術 4 級	서울大 大學院	碩士 (保健學)	
産業醫學 研究 室	李 敬 勇	責任研究員	延世大 大學院	碩士 (社會學)	
	李 寬 炯	研 究 員	江原大 大學院	碩士 (統計學)	
職業病 診斷센터	鄭 浩 根	所 長	延世大醫大	博士 (保健學)	醫師·豫防醫學專門醫, 診斷放射線專門醫,治療放射線專門醫 醫師·家庭醫學專門醫
	姜 星 圭	首席研究員	忠南大醫大 卒業	博士過程修了 (醫學)	
	洪 正 杓	研 究 員	延世大 保健大學院	碩士 (保健學)	
	金 海 貞	技 術 4 級	梨花女大 大學院	碩士 (理學)	

라. '92年 人力充員計劃

産業保健研究院

區 分	計	別定職	管理職 (行政)	技術職	研究職	技術職 研究職	技能職
計	12	-	-	1	7	4	-
産業衛生	2	-	-	-	2		-
産業醫學	4	-	-	0	2	2	-
職業病診斷	6	-	-	1	3	2	-

醫師人力 充員計劃： 內科專門醫， 病理專門醫

保護具檢定課

計	別定職	管理職	技術職	研究職	技術職 研究職	技能職
1	-	-	1	-	-	-

마. 段階別 <sup>坑</sup>擴充計劃

區 分		第 1 段階 (1993-1994)			第 2 段階 (1995)		
組 織		1課 3室 1센터			1課 3室 1센터		
定	計	計	定規	技能	計	定規	技能
			60	48	12	80	68
員	管 理 課	13	8	5	15	10	5
	衛生研究室	14	13	1	17	16	1
	毒性研究室	9	8	1	16	15	1
	醫學研究室	9	8	1	12	11	1
	診斷센터	15	11	4	20	16	4

## 2. 施設

### 가. 現況

産業衛生研究室	實驗室	: 109 坪
産業毒性研究室	變異原性 實驗室	: 18 坪
産業醫學研究室		: 55 坪
職業病診斷 센터	診療室	: 16 坪
	臨床病理室	: 44 坪
	分析室	: 55 坪
기타		: 100 坪
		<hr/>
		397 坪

### 나. 研究院 新築計劃 (産業安全保健綜合 센터에 包含)

産業衛生研究室	172 坪
産業毒性研究室	140 坪
産業醫學研究室	114 坪
職業病診斷 센터	236 坪
기타	
<hr/>	
約 734 坪	

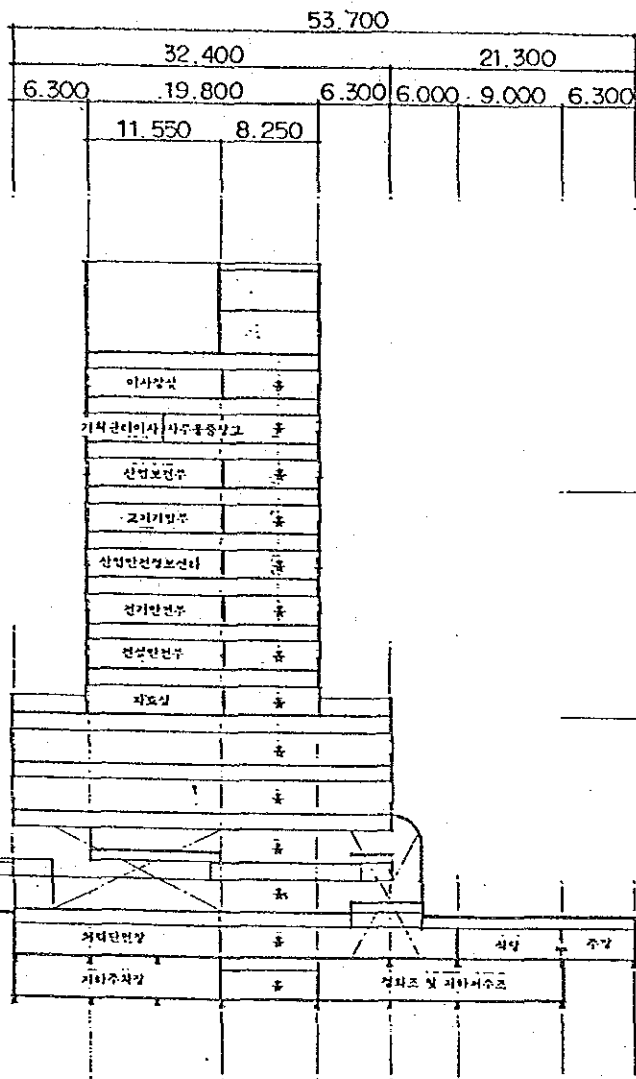
### o 産業安全保健綜合 center 建築計劃

規模 : 地下 2層 地上 12層  
總 建坪 8,163 坪

內容 : 勞動研修院  
教育院  
保健研究院  
檢定試驗棟  
本部

'92年 下半期 着工  
'94年 12月 完工豫定

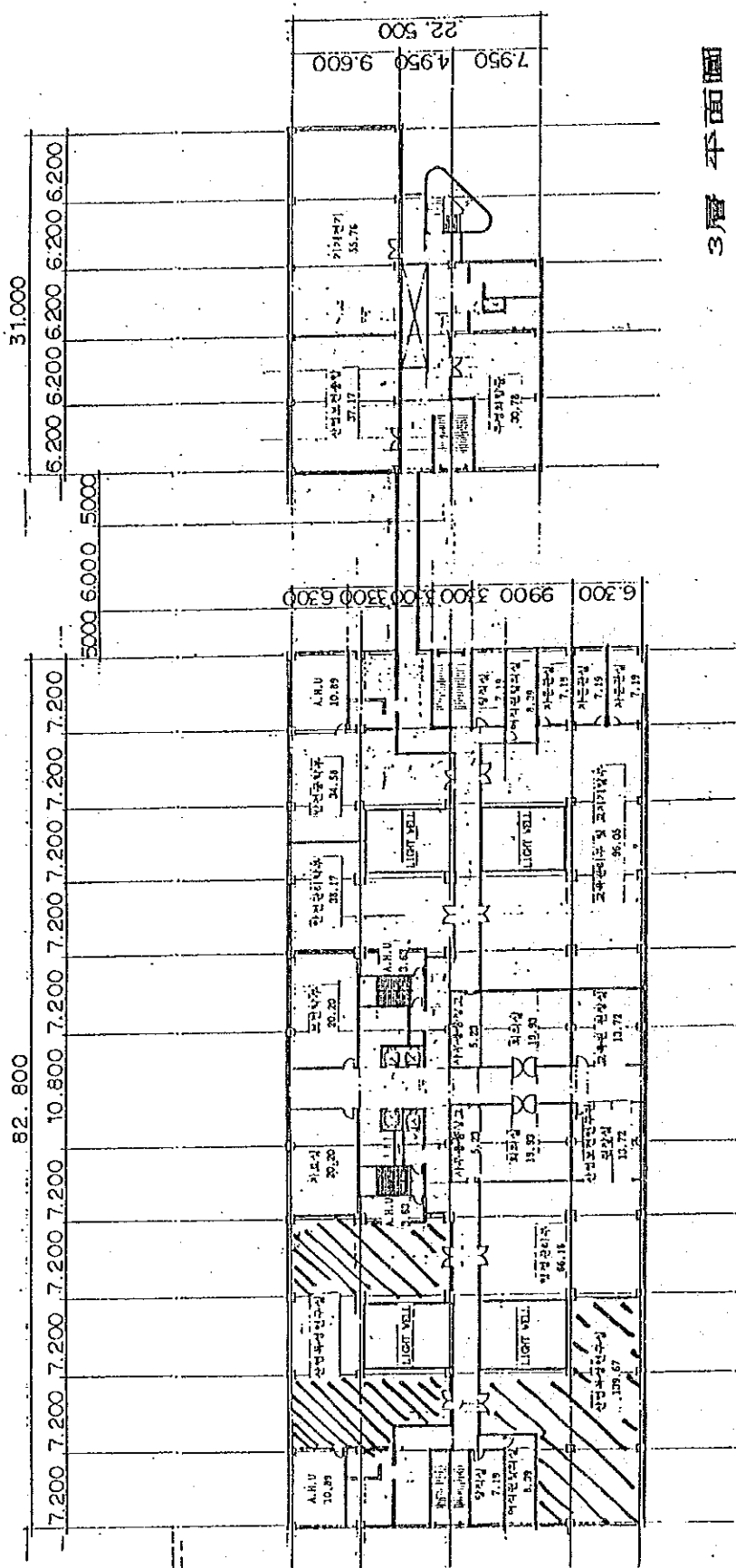




- 국립과학
- 지하 12층
- 12층
- 11층
- 10층
- 9층
- 8층
- 7층
- 6층
- 5층
- 4층
- 3층
- 2층
- 지하 1층
- 지하 1층
- 지하 2층

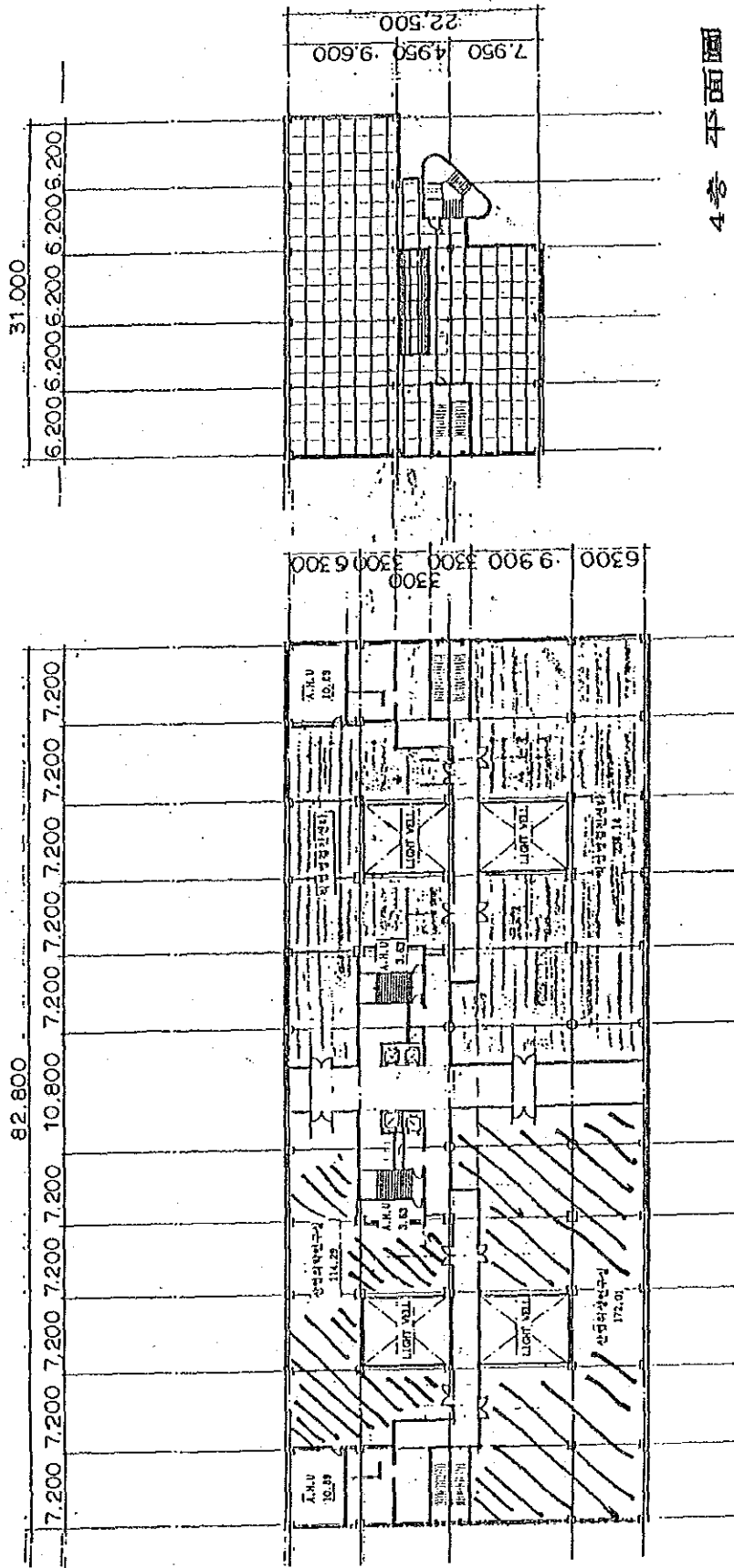
3F, 4F  
 2차  
 3F, 4F 사용  
 2차

縱斷面圖  
 축척 1/400



3層 平面圖  
 縮尺: 1/400.

科 究 院 研 究 所 球 模 線 科



4층 平面圖  
縮尺: 1/2400

### 3. '92年 研究事業

- 가. 産業衛生研究室
  - 作業環境中 複合 有機溶劑 評價
  - 作業環境 管理 모델 開發研究
  - 有害物質 測定을 위한 公定試驗 技法研究
  - 局所排氣設備 實態調查 및 效率性 向上研究
  - 作業環境 測定機關 精度管理
  - 分析實驗室 運營
- 나. 産業毒性研究室
  - 變異原性 試驗方法에 따른 化學物質 毒性評價 研究
  - 毒性實驗 實態調查 및 産業保健學的 活用方案 研究
  - 化學物質의 生物學的 曝露基準 設定 研究
  - 有害性 檢查室 運營
- 다. 産業醫學研究室
  - 職業病 疫學調查 技法研究
    - 有機溶劑 取扱 勤勞者의 中樞神經障礙에 관한 研究
  - 職業病 發生機轉 研究
    - Cd 曝露에 의한 腎臟機能 障害 發生機轉에 관한 研究
  - 職業病에 관한 勤勞者의 意識 및 態度研究
    - 有機溶劑 取扱 勤勞者
  - 職業病 疫學 調查
    - 有機溶劑, 重金屬
- 라. 職業病診斷센터
  - 勤勞者 健康增進 프로그램 開發
  - 塵肺健康診斷 項目 改善에 관한 研究
  - 塵肺健康診斷 機關 指定基準 改善研究
  - 職業病診斷을 위한 特殊健康診斷
  - 有害物質 代謝產物 檢查

### 4. '92年 豫算 (單位：千圓)

職業病診斷 및 精度管理	226,540
保健研究開發	1,065,208
機關運營費	1,004,992
	<hr/>
	2,296,740

5. 韓日協力事業 細部內容에 관한  
産業保健研究院의 變更希望 意見

가. 專門家 派遣

1) 保護具檢定

- 原案 : '93年 1/4分期, 4/4分期
- 保護具檢定課의 意見 : '92年 3/4, 4/4分期로 日程 變更 要望
- \* 事由 : 韓國側 事業日程 때문

2) 勞動衛生研究基盤整備

- 原案 : 細部規定 없음
- 産業保健研究院의 意見 : '93년에 職業性 末梢神經障害 分野 專門家 派遣 希望

## 나. C/P 日本研修

### 1) 勞動衛生一般

- 原案 : 없음
- 産業保健研究院의 意見 : 産業保健研究院長의 日本産業保健界 視察 希望
- \* 事由 : 産業保健研究院의 開院에 즈음하여 日本의 現況視察이 큰 도움이 될 것임

### 2) 保護具檢定

- 原案 : '92年 2/4-3/4分期
- 保護具檢定課의 意見 : '93年 2/4-3/4分期로 日程 變更 要望
- \* 事由 : 韓國側 事業日程 때문

### 3) 變異原性 試驗

- 原案 : 1人 12個月, '92年 2/4-'93年 1/4分期
- 産業保健研究院의 意見 : 2人 6個月, '92年 3/4-4/4分期  
'93年 1/4-2/4分期
- \* 事由 : 韓國側 事業日程

### 4) 勞動衛生研究基盤整備

#### 細部內容의 施行順序

- 原案 : 細部規定 없음
- 産業保健研究院의 意見 : stress 評價와 測定技術 分野를 가장 빨리 研修 希望

#### 時期變更

- 原案 : '94年 - '96年
- 産業保健研究院의 意見 : 時期의 早期配定 希望 '92年-'94年

## 다. 機材 供與

### 1) 局所排氣裝置

#### 品目

- 原案 : 微風速計
- 産業保健研究院의 意見: 具體的으로 Laser Doppler Velocity Meter(LDV) 希望

#### 供與時期

- 原案 : 1993年
- 産業保健研究院의 意見: 1994年 下半期

### 2) 吸入試驗

- 原案 : 有機溶劑가스 曝露裝置 1組  
(吸入chamber 本體 包含)
- 産業保健研究院의 意見: 急性試驗用 1組(4 chamber)  
慢性試驗用 1組(4 chamber)
- \* 産業安全保健綜合 center에 約 60坪 以上の 面積 使用可能

### 3) 病理檢査 等

病理檢査用 供與 機材중 一部 機材의 早期供與 要望

品目 : 自動血球計算機  
血液生化學 自動分析裝置

- 原案 : 1995年
- 産業保健研究院의 意見 : 1993年
- \* 事由 : 活用도가 높은 裝備이므로 다른 研究에 早期利用하기 위함.

### 4) 勞働衛生研究基盤整備

誘發電位差測定裝置 供與時期

- 原案 : 具體的 時期 規定 없음
- 産業保健研究院의 意見 : 1992年 3/4分期

## 라. 기타

- 1) 現在 産業安全保健綜合 center 設計 準備中임.  
日本側에서 供與하기로 한 機材를 受容하기 위한 實驗室의 特別한 條件이 있으면 設計時 考慮할 수 있도록 빠른 時日內에 諮問을 希望.  
- 吸入毒性試驗室, 有害化學物質의 皮膚吸收 測定裝備 設置室
  
- 2) 韓國側이 經驗이 없는 分野에 대해서는 C/P 또는 日本研修者로서 適切한 人力의 學問分野條件에 대한 日本側 意見을 希望  
- 吸入毒性試驗, 有害化學物質의 皮膚吸收 測定



한국산업인력공단 기술이전분야

직역수령

구분	제	'92				'93				'94				'95				'96			
		2/4	3/4	4/4	6/4	2/4	3/4	4/4	10/20	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4
지	전문가 파견	43/59.5				10/20				11/21				9/8.5				7/6			
	C/P 임용연수	10/66				3/27				2/9				2/9				1/3			
* 노동위생 * 직업안전 * 직업건강 * 직업교육 * 직업훈련	전문가 파견	2/24				1/12				1/12											
	C/P 임용연수	5/12.5				1/3				1/3				1/3				1/3			
	전문가 파견	2/2								1/1				1/1							
	C/P 임용연수	1/3				1/3				1/1				1/1							
* 금속배기 * 자동차	전문가 파견	3/3				1/1				1/1				1/1							
	C/P 임용연수	1/6												1/6							
* 자동차 * 자동차 * 자동차	기재증여					Δ				Δ											
	전문가 파견	2/1				1/0.5				1/0.5											
	C/P 임용연수	1/6				1/6				1/6											
* 전기통신 * 전기통신 * 전기통신	전문가 파견	1/0.5				1/6				1/0.5				1/0.5							
	C/P 임용연수	1/12				1/6				1/6											
* 통신사업 * 통신사업	전문가 파견	1/0.5																1/0.5			
	C/P 임용연수	2/24				2/24															
	기재증여																	○			

구분	계	'92				'93				'94				'95				'96				
		2/4	3/4	4/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	
○ 평가검사	전문가 파견 1/0.5																		1/0.5			
○ 직업성평	C/P 일본연수 1/6						1/5															
○ 직장관리 (점도관리)	기재공여		○													○						
○ 노무실업 노연진	전문가 파견 21/10.5									3/1.5	4/2											
○ 노연진	전문가 파견 2/2									1/1												
○ 노연진	전문가 파견 3/3																					
○ 노연진	C/P 일본연수 3/9																					
○ 노연진	기재공여		○																			

---

---

協 會 現 況

---

---

1992. 2. 24

大韓産業保健協會



# 目 次

## 協會現況

・ 設立目的 .....	1
・ 主要事業 .....	1
・ 沿 革 .....	2
・ 組織及び人員 .....	3
・ 事業現況.....	6
・ 産業保健センター所在地 .....	11
・ 韓国の産業保健管理体系 .....	12



## 協 會 現 況

1. 設立日付：1963.11.22.

### 2. 設立目的

本協会は産業保健に関する学術研究と技術開発によって労働者の疾病予防と健康増進に寄与し国家産業発展と福祉国家建設に貢献することを目的とする。

### 3. 主要事業

1. 産業保健に関する技術開発及び普及
2. 産業保健に関する調査研究
3. 産業保健に関する教育訓練
4. 事業場作業環境管理
5. 労働者健康管理
6. 産業保健に関する政策研究及び建議
7. 会員の活動支援
8. 産業保健に関する国際交流及び情報交換
9. その他産業保健に必要な事業

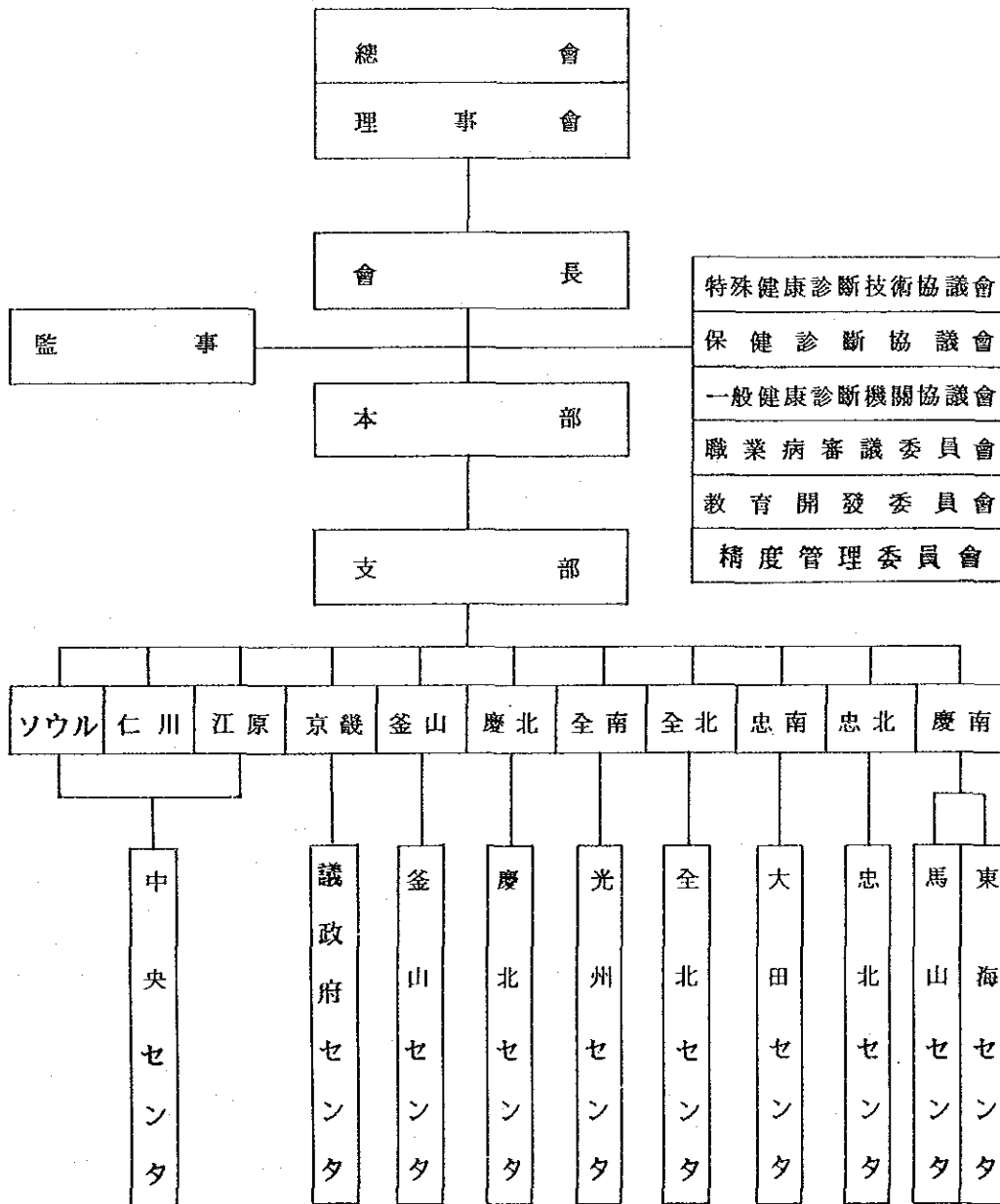
#### 4. 沿革

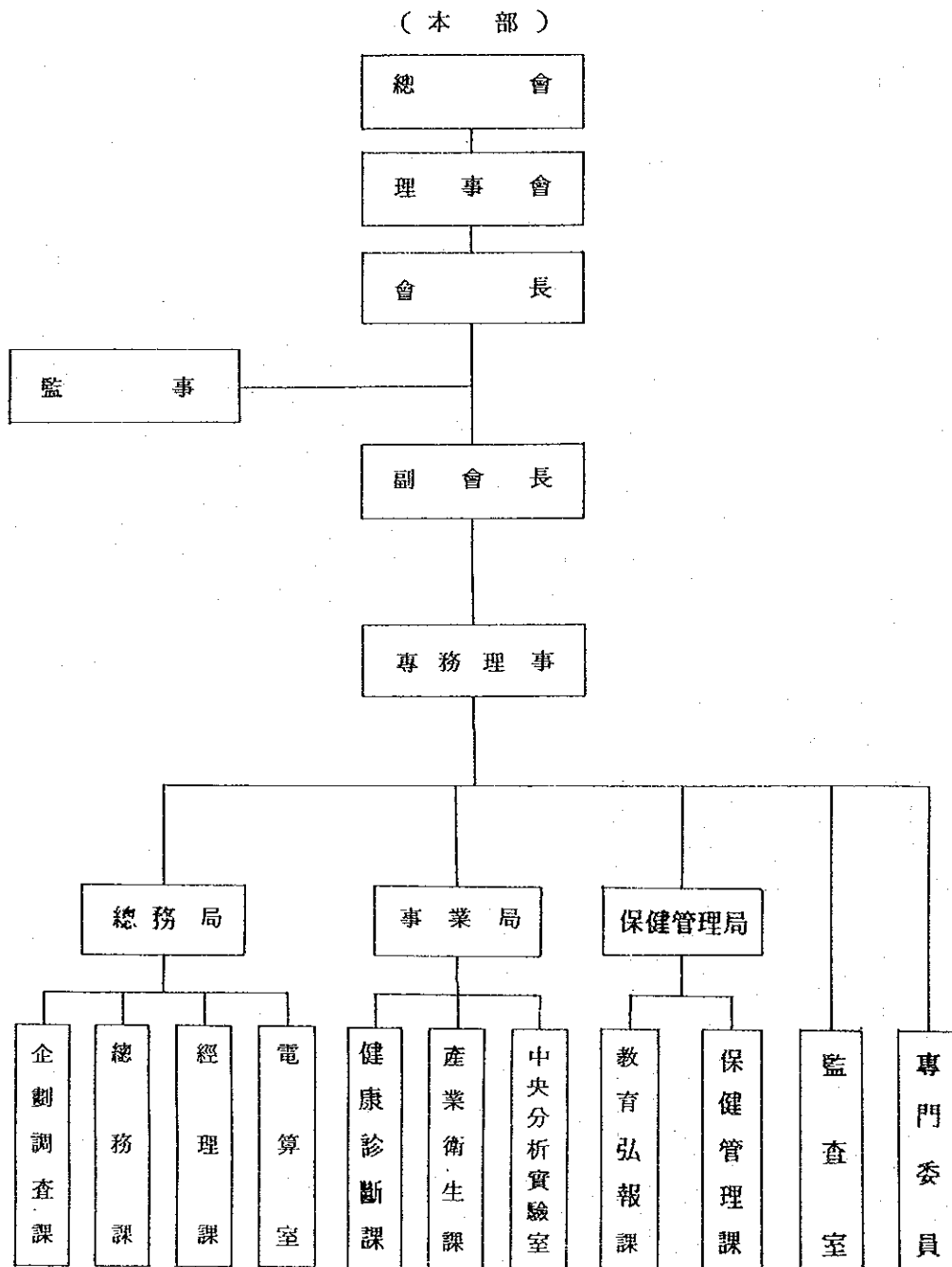
- 1963.11 協会創立総会
- 1968. 5 永登浦産業保健センター設立
- 1972. 4 馬山輸出自由地域内勤労者福祉医院設立  
( 集団保健管理示範実施 )
- 1979.10 第 9 次亜細亜産業保健協会総会及び学術大会開催 ( ソウル )
- 1983. 3 特殊健康診断技術協議会設立
- 1983. 3 特殊健康診断機関指定 ( 労働部 )
- 1983. 5 保健関係者職務教育代行機関指定 ( 労働部 )
- 1983. 6 保健診断機関指定 ( 労働部 )
- 1983. 6 保健診断協議会設立
- 1984. 5 第 1 回韓日産業保健学術集談会開催 ( ソウル )
- 1985.10 塵肺法による作業環境測定機関指定 ( 労働部 )
- 1986. 5 第 3 回韓日産業保健学術集談会開催 ( 馬山 )
- 1987. 4 一般健康診断機関協議会設立
- 1988.12 電算室運営 ( 全国電算網設置 )
- 1989. 6 第 5 回韓日産業保健学術集談会開催 ( 済州 )
- 1989. 7 中央分析実験室設置
- 1991. 3 保健管理代行機関及び作業環境測定機関指定 ( 労働部 )
- 1992. 2 議政府産業保健センター設立

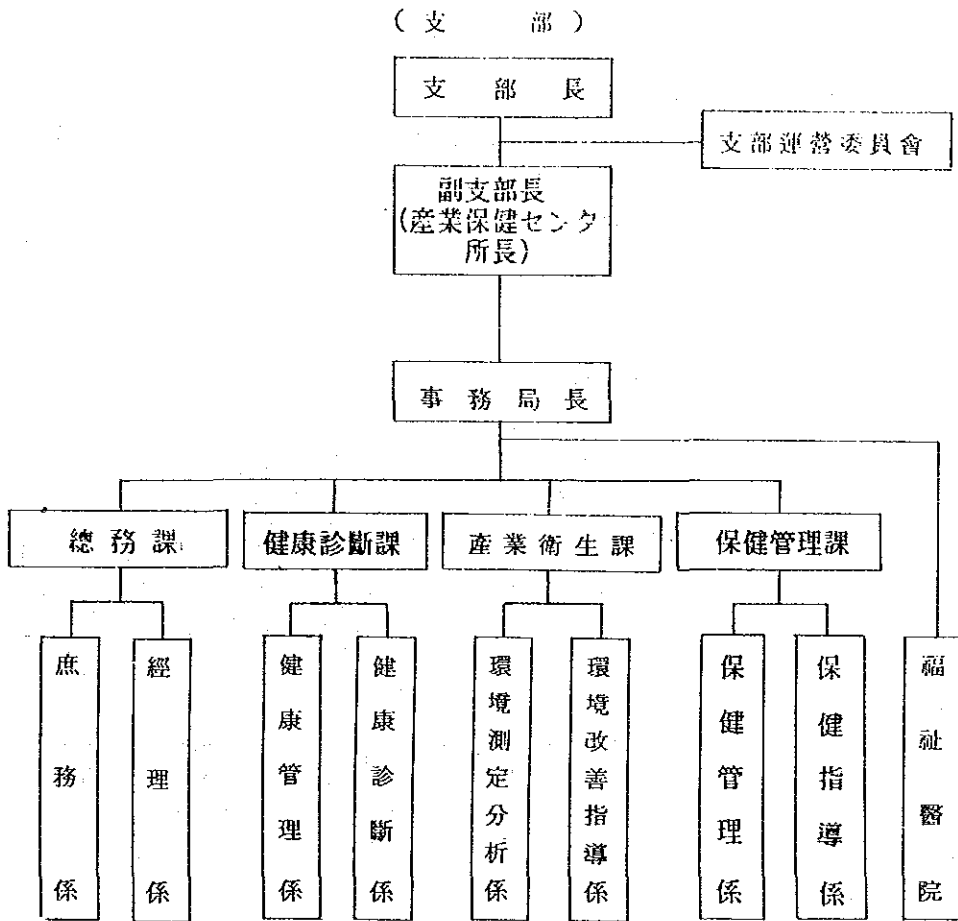


## 5. 組織及び人員

### ○ 組織







◇ 人 員

92. 3. 1 現在

総員	別定職	医師職	技 術 職	一 般 職	技 能 職
495	1	36	323	98	37
			・ 看 護 : 118 ・ X-Ray : 26 ・ 病 理 : 38 ・ 産 業 衛 生 : 85 ・ 健 康 管 理 : 33 ・ 分 析 : 9 ・ 電 算 : 14		

## 6. 事業現況

### ○ 學術調査 研究

67年～70年	71年～80年	81年～90年	備 考
9 件	32 件	55 件	

### ○ 勤勞者 保健管理

#### 一 勤勞者 健康診断（91年度）

區 分	全 國	協 會	比 率(%)
特 殊 檢 診 (健)	549,233名	209,037名	38.1
一 般 檢 診	2,980,283名	115,230名	3.8

#### 一 事業場 作業環境 測定（91年度）

區 分	全 國	協 會	比 率(%)
作 業 環 境 測 定	12,800 個所	9,685 個所	75.7

#### 一 保健管理代行

年 度 別	事 業 場 數	勤 勞 者 數
91 年 度	1,883 個所	192,000 名
92 年 目 標	2,800 個所	300,000 名

◇ 中央分析實驗室運營

- 協會傘下センター及び全國保健管理代行機關の分析業務を支援する爲有機溶劑、特定化學物質、重金屬に對する試料、作業環境測定試料を分析する中央分析實驗室を設置運營している。

- '92 - '93間に既存中央分析實驗室の機資材を補充する一方、中部圏、嶺南圏、湖南圏等3個地域(大田、釜山、光州)に地域分析實驗室を新設運營する計劃である。

- 中央分析實驗室分析實績

區 分		計	重金屬	特定化學物質	有機溶劑	代謝物質
計		17,368	9,063	1,702	3,077	3,526
檢診	協會	7,222	4,437	15		2,770
	會員機關	893	131	6		756
測定	協會	9,051	4,440	1,656	2,955	
	會員機關	202	55	25	122	

- \* A.A : 現在協會が保有しているA.Aで協會の全分析物量を處理しているが分析量の増加及び精度管理を考慮する場合、各因子別に専擔べきA.Aの導入と運營が必要な實情である。
- \* G.C : 現在まで檢知管法で全有機溶劑件數の約85%を測定したが、'92年より有機溶劑試料の全量を規定の改正によってG.Cで分析せねばならぬ狀況で至急な補強を要する。
- \* ICP, FTIR : 毎年多くの未知試料が発生されるので、同試料の構造確認及び有害因子の正確な探し出しの爲不可欠な裝備である。
- \* HPLC with I.C : 毎年増えている有機酸(代謝物質)、鹽、特定化學物質(酸種類等)の分析に不可欠な裝備である。

◇ 電算室運営

- 勤労者健康管理を科学的又体系的に推進する爲本部に電算室を設置し勤労者健康診断結果及び作業環境測定結果を電算入力,次の如く分析処理している.

- ・ 一般及び特殊検診結果個人記録入力管理(協会擔當約30万人分)
  - ・ 健康診断個人表,事業場結果表及び有所見者事后管理所見書等法定報告書出力
  - ・ 特殊検診結果有所見者個人記録入力管理(全國約8千件)
  - ・ 全國健康診断受検事業場(約9万)結果表分析評價,綜合年報發刊
  - ・ 全國作業環境測定事業場(約1万)結果分析評價,綜合年報發刊
  - ・ 給與,人事,物品,會計管理等業務電算處理
- 10個センターは今年上半期中各課にP.C1臺ずつ補強し業務電算化

◇ 精度管理

- 政府は勤労者健康診断機關の検査項目別検査能力の向上と検査結果の信頼度を高める爲今年の下半期より特殊検診機關に對する精度管理を実施する計劃である.

- 政府は本協會を全國精度管理實施機關に指定した.それで本協會はこの準備業務を擔當し推進中である.

○ 教育訓練

教育訓練実績

年度		対象	保 健 管 理 者		
			医 師	看 護 師	産 業 衛 生 士
'84～'86まで			3,858名	13,914名	1,346名
'87	新規		227	1,033	159
	補修		556	1,166	314
'88	新規		137	894	韓国産業安全公団 移 管
	補修		190	729	
'89 ( '91)	新規		242 (306)	1,355 ( - )	
	補修		646 (772)	916 ( - )	
'87～'91累計			3,076	6,093	473

○ 国際交流

世界保健機構 (WHO), 国際労働機構 (ILO), 国際産業保健学会, 亜細亜産業保健協会, 韓日産業保健学術集談会等国際機構及び外国専門学術団体と提携し, 情報資料を相互交換し, 産業保健事業の為に海外訓練又は研修視察等を通じ新しい理論と技術を導入, 韓国産業保健水準向上に努力している。

特に, 韓日産業保健学術集談会 ( '84年結成 ) は今年まで6回に亘り開催しその間韓日間の産業保健に対する学術交流及び親善を図り大きな成果を挙げた。

又 '90年より職員海外研修の爲分野別に20名ぐらいを毎年日本に派遣し京都工場保健會と關西労働衛生技術センター等を訪問し産業保健に対する識見を廣げ協會業務向上に努力している。

○ 協議會運営

一 特殊健康診断技術協議会

- ・特殊健康診断業務の効率的な実行と改善をはかる一方特殊健康診断機関相互に  
関聯した業務を協議調整する為 本協会に特殊健康診断技術協議会を設置  
運営している。
- ・特殊検診機関数は55 箇所である。

一 保健診断協議会

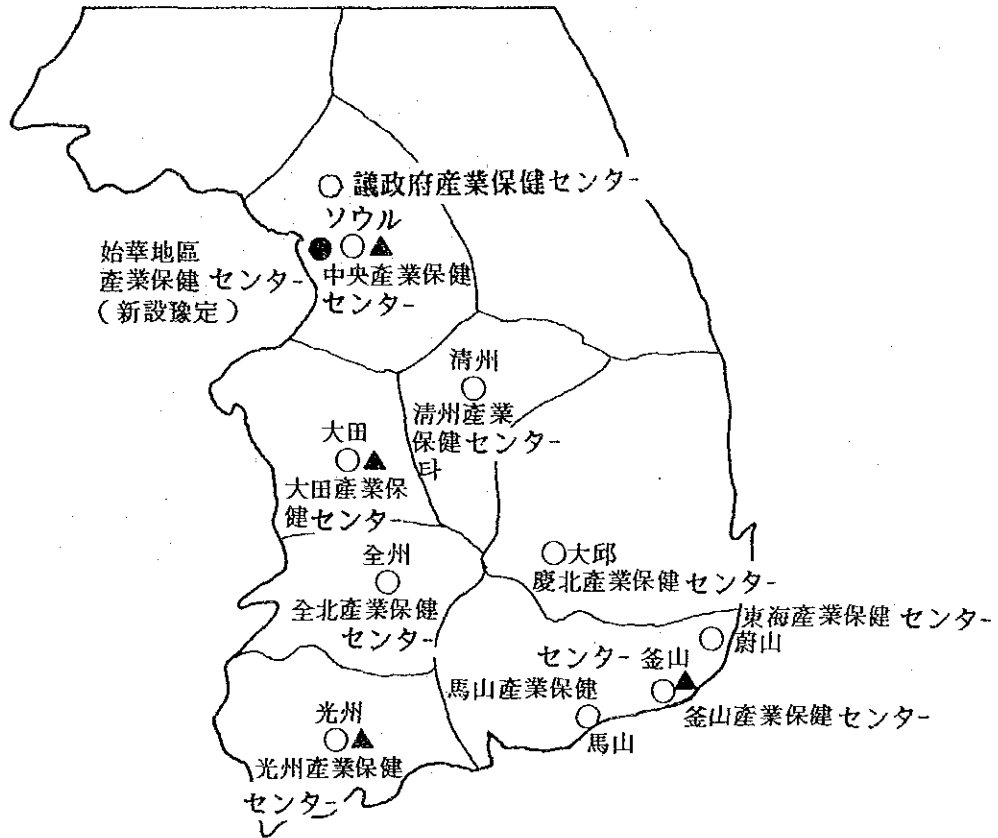
- ・保健診断機関間の技術及び情報を交換し診断の方法と評価基準を確立し診断  
の標準化を図る為全国保健診断機関は協会内に協議会を構成運営している。
- ・保健診断機関及び作業環境測定機関数は39 箇所である。

一 一般健康診断機関協議会

- ・全国事業場の労働者に対する一般健康診断業務の効率的な実施と改善をはか  
り健康診断機関相互の協力と調整の為本協会内に一般健康診断機関協議会を  
設置・運営している。
- ・一般健康診断機関数は1,317 箇所である。

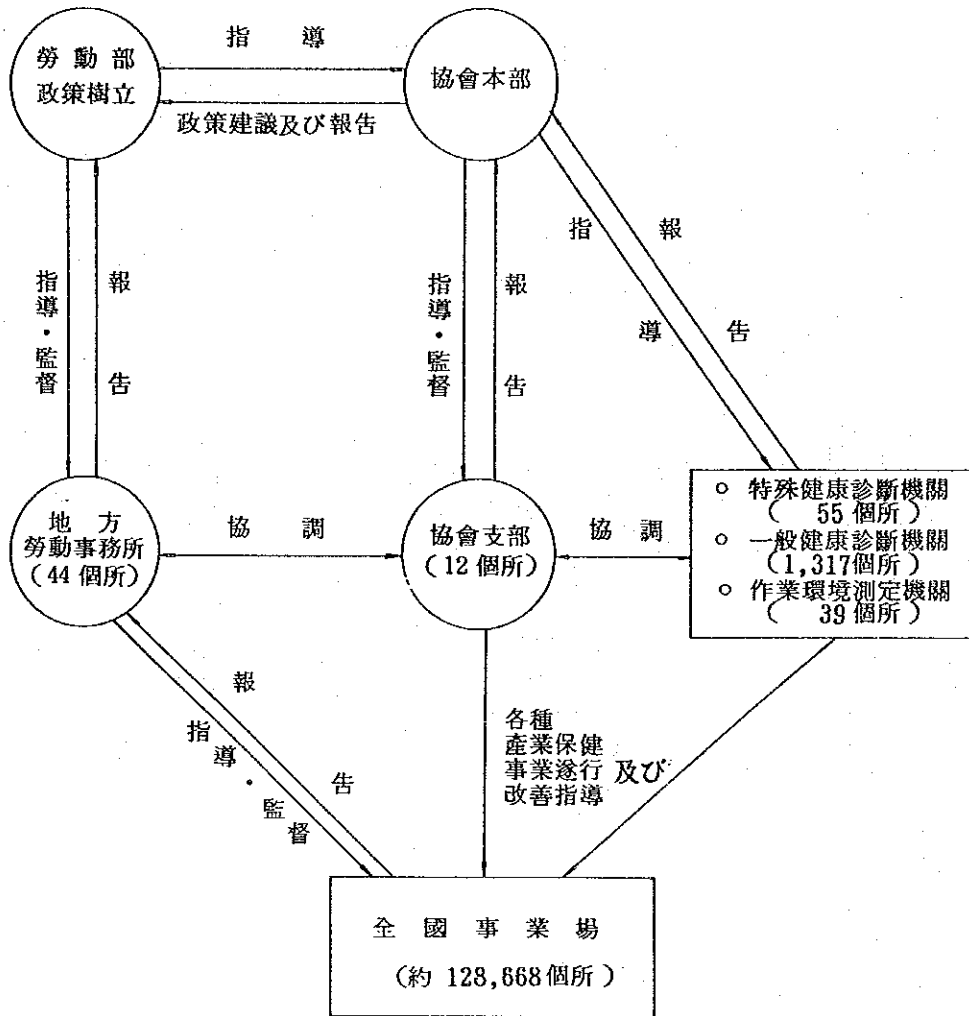


7. 産業保健センタ所在地



- 凡例：○ 既存センター  
 ● 新設計劃センター  
 ▲ 分析實驗室

8. 韓國の 産業保健管理 體系圖



1992. 2. 27. 現在

# 支 部 の 現 況

(中央産業保健センター)

社団法人 大韓産業保健協會  
ソウル 支部



目 次

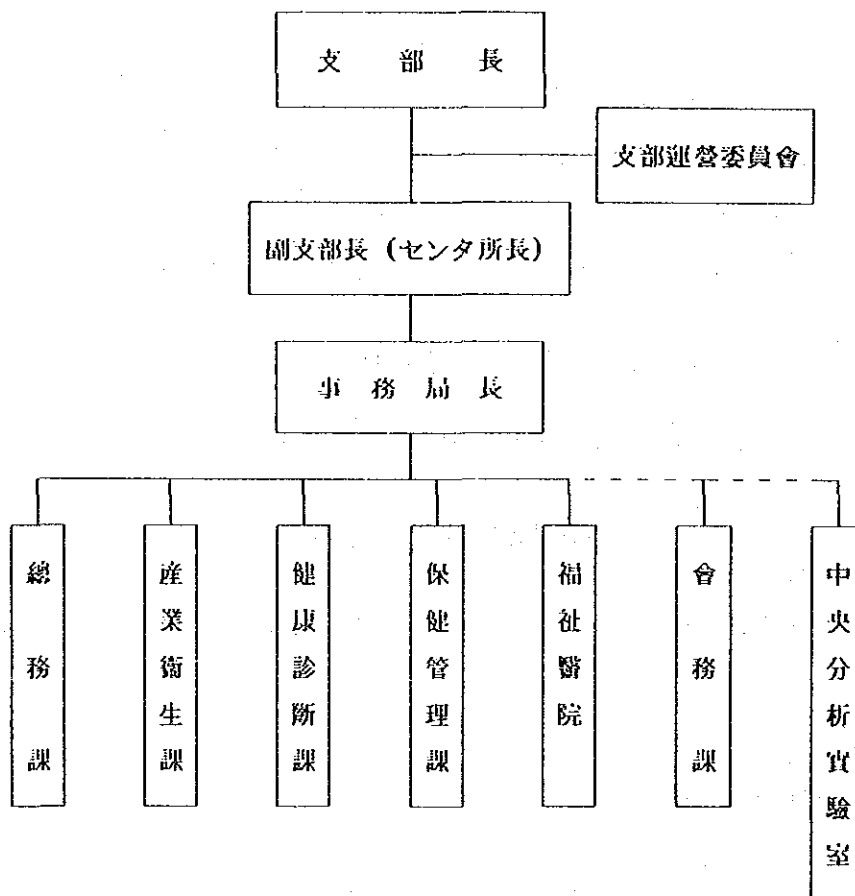
1. 沿革 -----
2. 機構及び人員 -----
3. 主要事業 -----
4. 作業環境測定及び  
特殊健康診断機関指定現況 ---
5. 丸老工場の現況 -----
6. 資 積 -----
7. 保健管理代行現況 -----
8. 建物の現況 -----



## 1. 沿革

1966. 3 支部の結成
1968. 5 永登浦産業保健サービスセンター開設
1969. 4 センターに付属病院お開設
1971. 1 清溪市場商街に労働者福祉病院を開設運営  
(衣服製造業の密集地域)
1982. 5 Catholic醫科大學産業醫學研究所と技術協力協定及び  
共同研究協定を結ぶ
1983. 2 中央産業保健センターと改稱
1986. 2 集團保健管理体制を確立するため九老工團域内に移轉
1986. 7 支部建物の獲得 (政府融資)
1989. 7 中央分析實驗室の設置
1991. 2 保健管理代行の機關指定 (労働部)

## 2. 機構及び人員



### 人 員

=====

醫 師 職	6名
技 術 職	46名
一 般 職	21名
計	73名



### 3. 主要事業

- 0 事業場保健管理の代行
- 0 一般及び特殊健康診断
- 0 作業環境測定
- 0 健康相談と保健教育
- 0 應急処置及び一般患者診療

### 4. 作業環境測定及び

#### 特殊健康診断機関指定現況

区分 地域	労働部 地方事務所	事業場	労働者数	備 考
ソウル	冠 岳	3,440	146,296	
	(工 園)	(259)	(57,479)	
	(其 他)	(3,181)	(88,817)	
京 畿	水 原	2,389	152,082	管轄一部地域
	安 山	1,030	54,823	
	富 川	3,800	106,728	
	議政府	1,263	41,699	
江 原	原 州	379	11,302	
	春 川	601	17,088	
合 計		12,902	530,018	

## 5. 九老工團の現況

區分 業種別	제 1 工團	제 2 工團	제 3 工團	計	備考
	事業場數 / 勤勞者數	事業場數 / 勤勞者數	事業場數 / 勤勞者數	事業場數 / 勤勞者數	
計	51 / 12,109	58 / 10,765	150 / 34,623	259 / 57,497	
織 維	14 / 3,317	29 / 5,637	38 / 8,197	81 / 17,151	
印刷製紙	5 / 228	8 / 1,647	11 / 1,682	24 / 3,617	
石油化學	4 / 979	2 / 78	16 / 1,894	22 / 2,951	
非鐵金屬	0 / 0	0 / 0	1 / 455	1 / 455	
1次金屬	0 / 0	1 / 28	3 / 442	4 / 470	
組立金屬	23 / 6,237	15 / 2,707	70 / 20,358	108 / 29,302	
食 品	1 / 60	0 / 0	1 / 28	2 / 88	
琺瑯其他	4 / 1,228	3 / 668	10 / 1,567	17 / 3,463	

## 6. 實 績

1991. 12. 31 現在

事業年度	' 89	' 90	' 91
一般健診	23,485	19,586	15,207
特殊健診	21,856	26,883	32,370
精密健診	5,318	6,236	11,113
採用健診	1,317	1,194	1,957
作業環境測定	963	1,117	1,742
保健管理代行	45	63	520

## 7. 保健管理代行現況

1992. 2. 24 現在

地域別	區分	指 定 日 字	指 定 限 界		現 況		備 考
			事業場	人 員	事業場	人 員	
ソ ウ ル	冠 岳	3.21	220	20,000	172	18,227	
	北 部	4.9	90	5,800	45	5,616	
	西 部	4.16	110	7,300	55	6,999	
	南 部	5.24	40	2,700	24	2,505	
	ソウル廳	10.31	90	6,000	48	5,214	
京 畿	議政府	3.11	130	8,600	106	9,362	
	城 南	7.20	70	4,600	43	4,058	
	水 原	11.21	60	4,000	8	486	
江 原	春 川	4.19	90	6,000	68	5,822	
計			900	65,000	569	58,289	

8. 建物の現況

層別		區分		備考
		m <sup>2</sup>	坪	
全地面積		605	183	
建 物	地層	36.5	11.05	
	1層	262.3	79.48	
	2層	272.05	82.43	
	3層	183.24	55.52	
	合計	754.09	228.49	

## 事前作成資料

### (1) 技術移轉場所に関する事項

● 基本事項

(機関名：大韓産業保健協會)

技術移轉場所名	住所(郵便番號記載)	電 話	F A X	備 考
中央産業保健 Center	ソウル特別市 九老區 加里峯洞 60 50 (152 - 020)	(02) 866-9507 866-9508 866-9509	(02) 858-2175	
光州産業保健 Center	光州 直轄市 北區 檀洞 100 9 (500 - 020)	(062) 529 2409	(062) 521-0175	'92 年度 移轉豫定
釜山産業保健 Center	釜山 直轄市 北區 出法洞 500 21 (616 - 060)	(051) 323-1009 323-2109 323 8288	(051) 322-8032	

● 施設、機材の新、増設、改修予定時期及び完了時期

(機関名：大韓産業保健協會)

施設、機材目	區分	着手豫定時期	完了豫定時期
光州産業保健センター 建物確保移轉	増設	'92. 6	'92.12
Mobile car (2 臺)	改修	'92. 2	'92. 4
(1) 健康診断裝備		'92. 2	'92. 4
◦ 高壓滅菌器 (3 臺)	改修	"	"
◦ Microhematecnilcentrifuge (2 臺)	増設	"	"
◦ Centrifuge (3 臺)	増設	"	"
◦ X-Ray撮影機 (3 臺)	新、改修	"	"
◦ 超音波感知機 (2 臺)	新設	"	"
◦ 聴力防音室 (2 臺)	新、改修	"	"
◦ 冷却遠心器 (2 臺)	増設	"	"
◦ 自動現像装置 (2 臺)	増設	"	"
◦ 血糖測定器 (5 臺)	増設	"	"
◦ 自動血球計數器 (1 臺)	改修	"	"

施 設、機 資 材	區 分	着手豫定時期	完了豫定時期
(2) 作業環境測定設備		'92. 3	'92. 5
°試料採取器 (Personal Air Sampler) (30 臺)	増 設	"	"
°Noise Dosimeter (10 臺)	改 修	"	"
°乾濕球Globe溫度指示計 (3 臺)	改 修	"	"
°Sound Level Meter (5 臺)	改 修	"	"
°Vibration Meter (3 臺)	増, 改修	"	"
°U.V Meter (5 臺)	増, 改修	"	"
°カス分析機 (2 臺)	新 設	"	"
°Digital Calibrator (3 臺)	新 設	"	"
°Hot Wire Anemometer (3 臺)	増 設	"	"
°Electronic Balance (2 臺)	改 修	"	"

(2) Project Site別 Counter Part 配置計劃

(機關名：大韓産業保健協會)

技術協力分野	姓名	年齢	職務	資格	経歴年数	日本 counter partとの職務分擔内容	日本語能力(上,中,下)
作業環境測定	村厚根	32	測定分析係長	産業衛生管理技士 1級	5年	測定	中
	金正男	49	本部産業衛生課長		19年	評價	下
	金錫源	36	分析室長	環境管理技士(水質) 1級	9年	精度管理	中
	史元嬉	29	分析研究員	産業衛生管理技士 1級 環境管理(水質)(大気)(騒音,振動) 1級	7年		下
	村賢宇	31	分析研究員	環境管理(大気) 1級 産業衛生管理技士 1級	5年		下
	健康診断管理	金哲雄	50	健康管理課長	臨床病理士	24年	精度管理
孫昌根		30	健康診断係長	臨床病理士	3年		下
申相求		31	電算室長	情報処理技士 1級	6年	資料管理	下
鄭露鍾		29	電算副室長	情報処理技士 1級	4年		下



### (3) 職員配置計画

	計 劃
配 置 場 所	中央産業保健センター
秘 書	日本語可能者で秘書兼打字手1名 新規採用
打 字 手	
運 轉 手	既存 運轉手中1名 配置
通 譯	職員中で日本語可能者1名 配置

### (4) 豫 算

#### ● 概 要

技術移轉場所	'92 豫算内譯
計	526,000,000
中央産業保健 Center	179,000,000
光州産業保健 Center	190,000,000
釜山産業保健 Center	157,000,000

#### ● 施設,機資材 新,増設,改修豫定確措時期

- '92 協會豫算に計上 : 326,000,000

- Lease資金活用 : 200,000,000

1991年度 センタ別事業実績

センタ		計	中央	釜山	慶北	光州	大田	忠北	全北	馬山	東海
事業名											
作業環境 測定	箇所	9,695	1,720	1,317	2,144	704	755	856	660	874	658
特殊 検診	名	209,037	2,370	22,866	36,564	15,144	17,189	13,662	11,347	19,974	26,704
一般 検診	名	115,230	5,297	9,522	9,095	26,245	6,904	9,967	14,942	19,179	5,411
採用 検診	名	24,821	1,957	232	999	3,535	2,299	1,855	1,511	5,260	2,292
結核 密診	件	47,934	11,110	9,746	7,055	2,622	4,564	2,660	2,795	5,094	2,358
肝炎 検査	名	4,994	909		128	257	950		1,964		699
保健管理 代行	名	196,094	49,589	19,529	23,242	9,646	12,589	16,592	10,412	36,564	12,021
診療 其他	件	23,990	1,673			2,573	26		9,226	9,499	

大韓產業保健協會

職 別	計	平 壤	中 央	金 山	慶 北	光 州	大 田	忠 北	全 北	馬 山	東 海	議 政 府
合 計	495	42	73	45	59	37	39	42	40	55	34	29
總 務 課	36		5	3	4	3	3	3	4	4	4	2
技 術 課	323	20	40	22	44	23	35	27	28	41	23	20
研 究 課	99	19	21	7	8	9	8	7	6	7	5	5
技 能 課	37	3	6	3	3	3	5	5	2	3	2	2



日本 調査團訪韓に 對する 事前資料

1992年 2月

順天郷大學校  
集團産業保健管理研究所



(2) 技術移轉場所に関する事項

0 基本事項

(機關名：順天郷大學校)

技術移轉場所名	住 所	電 話	F A X
順天郷大學校 集團産業保健管理研究所 龜尾 Center	730-030 慶北 龜尾市 工團洞 250番地	0546) 463-7151	0546) 463-7504
天安 Center	330-100 忠南 天安市 鳳鳴洞 23-20	0417) 63-0531	0417) 61-4521

\*\* 但, 必要性, 効率性を考慮して 供與機資材の一部を 天安CENTER 及び ソウル CENTERに 配置  
することができる。

0 施設 機資材 新, 増設, 改修 豫定時期 及び 完了時期

施設, 機資材	區分(新, 増, 改修)	着手豫定時期	完了時期
龜尾 Center 施設	1 階 増築	1992年 2月 着工	1992年 6月末 完了 豫定
天安 Center 施設	擴張移轉		1992年 1月 移轉完了

0 技術移轉場所 周邊地圖, 建物配置圖, 面積：別添 参照

## (3) Project Site別 COUNTER PART 配置計画

(機関名：順天郷大 学校)

技術協力分野	姓名	年齢	職務	資格	経歴年数	日本のCOUNTER PARTと職務分擔内容	日本語能力
計							
1. 作業環境測定及び分析分野	金泰敦	38	研究所 作業環境測定課長	産業衛生管理 技士(1級)	12年	關西勞動研究CENTER 京都大學 醫學部 京都工場保健會 等 3例 機關を各2カ月 ずつ 研修	中
	巖英益	27	研究所 作業環境分析擔當	化學専攻	3年		中
2. 職業病疫學 職業性癌、塵肺症、 特定化學物質、 有機溶劑中毒等 に關する 最新知識及び 技術分野	禹克鈺	37	研究所 企劃室長 兼 助教授	豫防醫學 専門醫	9年	九州産業醫科 大學  "	中
	安宰億	34	研究所 専任醫師	豫防醫學 専門醫	3年		中
3. 作業態樣起因 疾病分野	崔順容	33	龜尾病院 整形外科 課長 兼 CENTER 諮問醫師	整形外科 専門醫	7年	未定 (日側専門家と協議 後 決定)	中
	張赫淳	45	龜尾病院 耳鼻咽喉科 科長 兼 CENTER 諮問醫師	耳鼻咽喉科 専門醫	13年		佐賀大學 醫學部 (耳鼻咽喉科 教室)
5. 職業性 皮膚疾患	鄭賢	38	龜尾病院 皮膚科長 兼 CENTER 諮問醫師	皮膚科 専門醫	10年	未定 (日側専門家と協議後 決定)	中
6. VDT 症候群 分野	李鍾協	34	龜尾病院 眼科科長 兼 CENTER 諮問醫師	眼科 専門醫	6年	"	中
7. 産業中毒學	李成宇	45	龜尾病院 内科科長 兼 CENTER 諮問醫師	内科 専門醫	17年	"	中
8. 健康管理 及び 事後措置	成正五	34	順天郷醫大 豫防醫學兼 教室 専任 講師	豫防醫學 専門醫	4年	慶應大學 醫學部	中
	鄭斗信	28	順天郷醫大 豫防醫學兼 教室 助教	豫防醫學 専攻醫	2年	"	中
9. 産業保健 管理分野	李明淑	36	龜尾CENTER 産業保健 看護師	看護師	2年	京都工場 保健會	中
	金養美	34	龜尾 CENTER 看護師	看護師	12年	"	中



(4) 職員配置 計劃

秘書：金善喜(22歳: 現 龜尾 病院 事務職)  
Typist：朴潤貞(22歳 “ )  
運轉技士：朴淳燮(49歳, 現 龜尾 CENTER 職員)  
通譯：金榮昇(30歳, 現 研究所 職員)

(5) 豫算

(機關名: 順天郷大學校)

\* 龜尾 CENTER

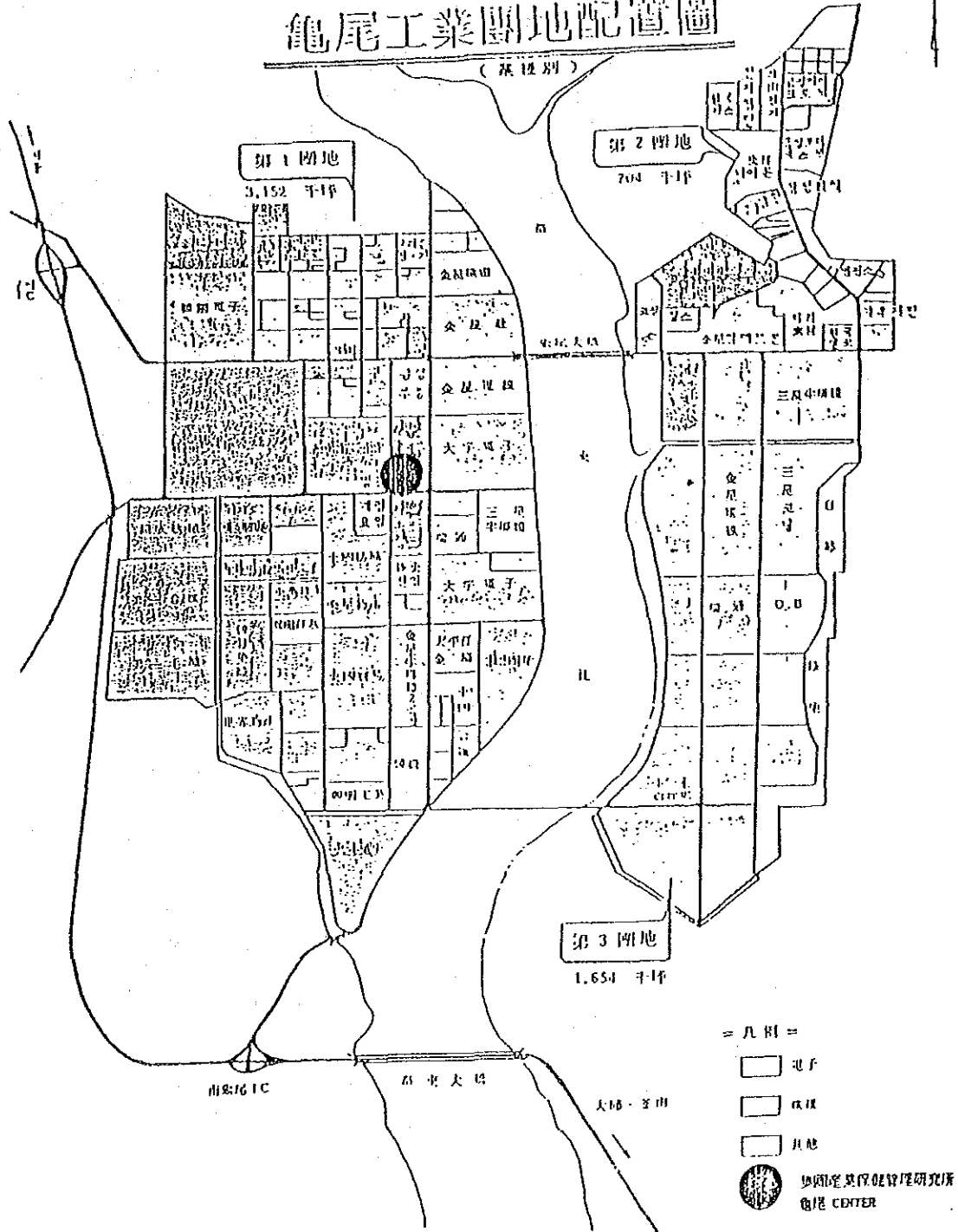
技術移轉場所名	'92 豫算内譯
計	
* 事業收入	計：292,000,000 WON
1. 保健管理代行事業 (167個 事業場 17,000 名 ×1,000WON/月×12個月)	204,000,000 WON
2. 作業環境測定 及び 評價	88,000,000 WON
* 支出	計：292,000,000 WON
1. 研究所 専任 人力報酬 (20名×750,000 WON/月×12個月)	180,000,000 WON
2. 技術協力 及び 調査研究機能強化費	20,000,000 WON
3. 效率的 保健管理 體系確立費	10,000,000 WON
4. 健康診断の 正度管理に関する研究費	10,000,000 WON
5. 保健管理業務の 電算化に関する研究費	10,000,000 WON
6. 物品購入費 (消耗品費 包含)	30,000,000 WON
7. 經常費 (2,000,000 WON/月×12個月)	24,000,000 WON
8. 豫備費	8,000,000 WON

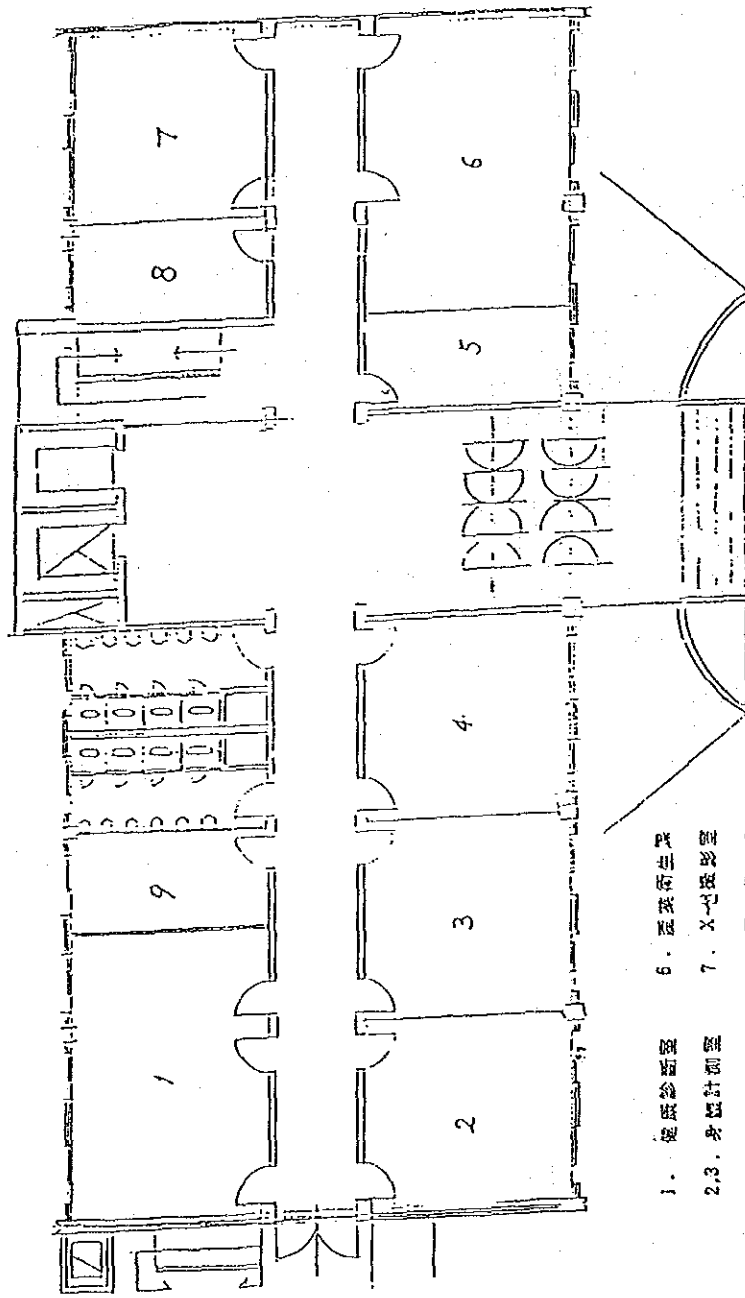
\* 天安 CENTER

技術移轉場所名	'92 豫算内譯
計	
* 専業收入	計 : 158,000,000 WON
1. 保健管理代行専業 (業種別) (5,000명 x 1,300 Won/月 x 12個月)	78,000,000 WON
2. 作業環境測定 及び 評價	80,000,000 WON
* 支出	計 : 158,000,000 WON
1. 研究所 専任 人力報酬 (10名x750,000 WON/月x12個月)	90,000,000 WON
2. 效率的 保健管理 體系確立費	10,000,000 WON
3. 健康診断の 正度管理に関する研究費	10,000,000 WON
4. 保健管理業務の 電算化に関する研究費	10,000,000 WON
5. 物品購入費 (消耗品費 包含)	10,000,000 WON
6. 經常費 (1,000,000 WON/月x12個月)	12,000,000 WON
7. 豫備費	16,000,000 WON

# 龜尾工業團地配置圖

( 棟 別 )

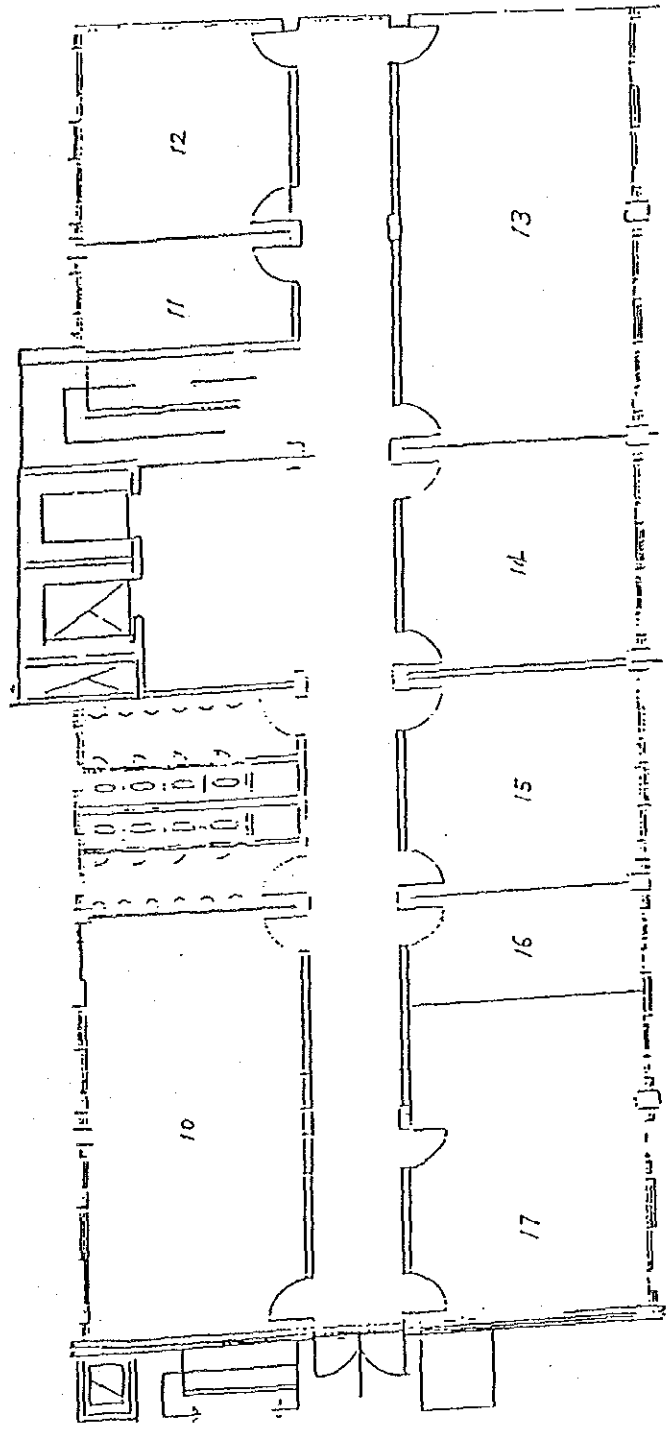




- 1. 健康診察室
- 2,3. 身體計測室
- 4. 病理解剖室
- 5. 授受室
- 6. 農業衛生課
- 7. X光線室
- 8. 現像室
- 9. 股衣室

延世集團農業保健管理研究所 平面圖(1F)

面積 : 168.5 坪

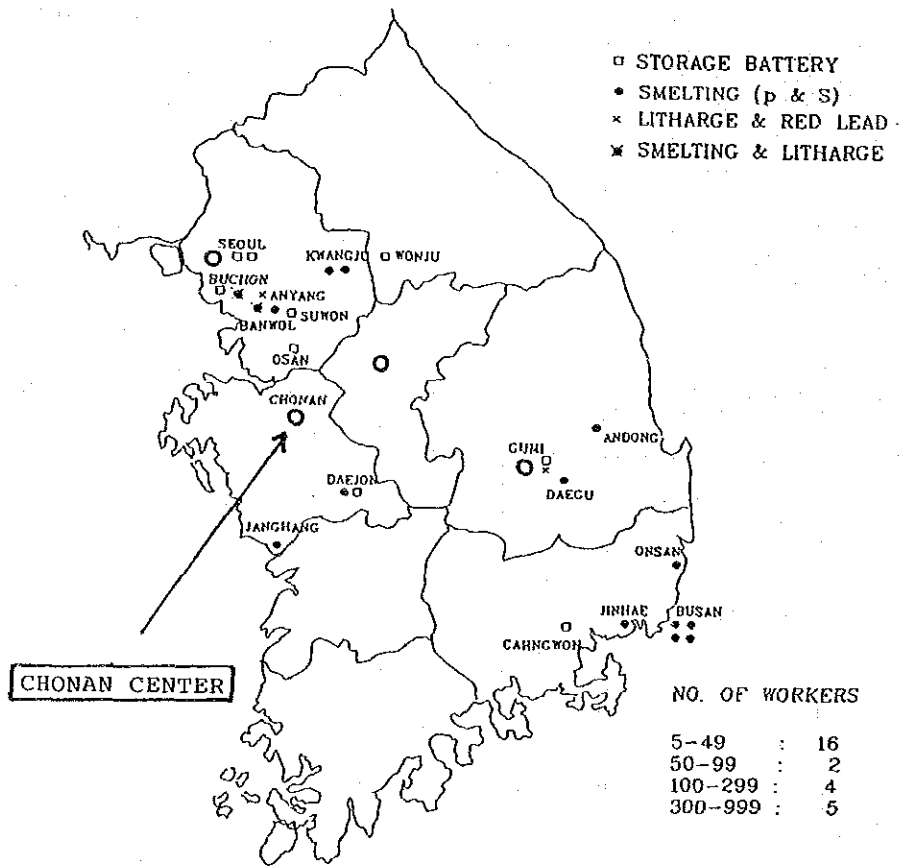


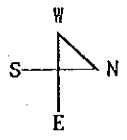
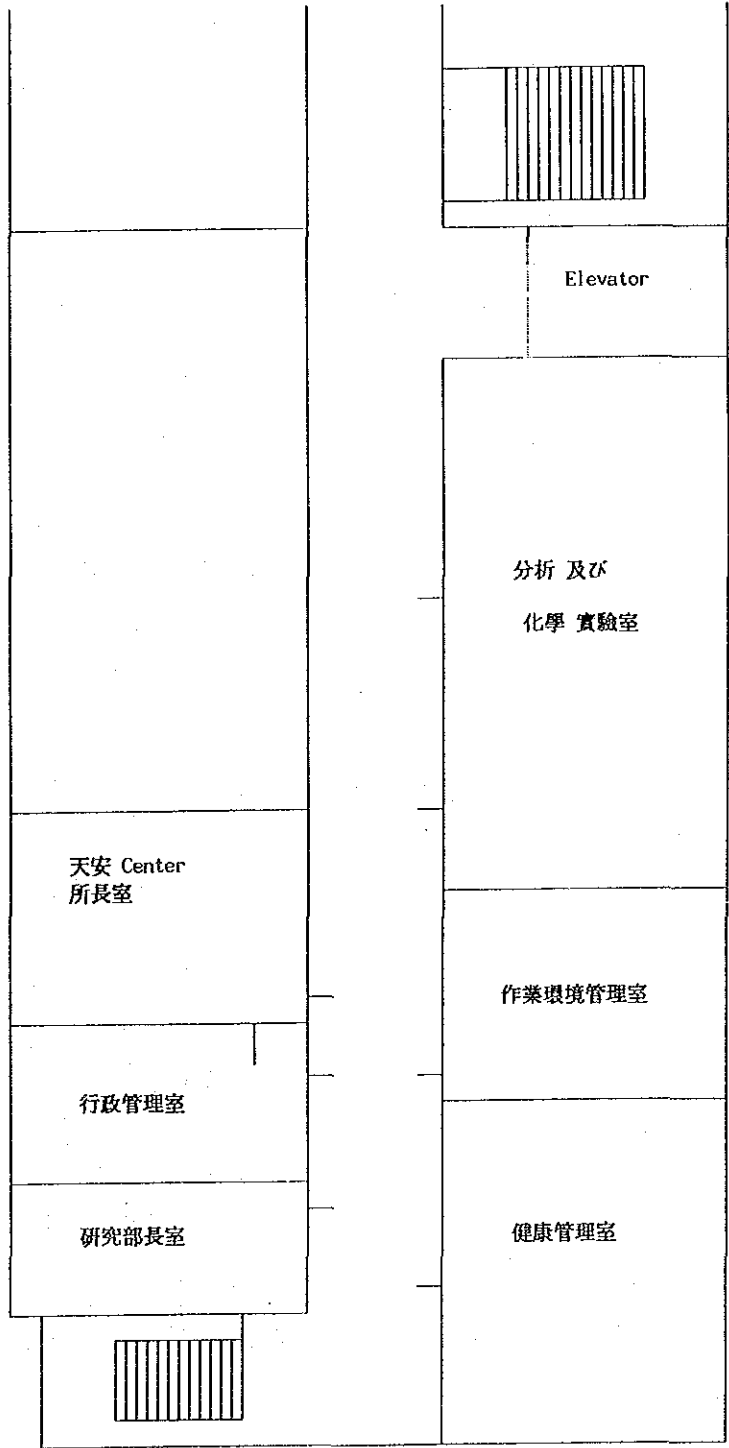
- 10. 會議室
- 11. 聽力檢查室
- 12. 電算資料室
- 13. 保健管理部
- 14. 總務部
- 15. 外來相談室
- 16. 心理圖檢室
- 17. 所長室

釜尾 韓國產藥保健管理研究所 (2F)

面積 : 168.5 坪

AREA MAP OF GROUP OCCUPATIONAL HEALTH SERVICE





天安 Center  
面積：303.9 M<sup>2</sup>

건강관리과

남 백 송 박사님

特殊檢診機關施設 & 設備現況

1. 施設基準

施設基準 (面積)	內 容	面 積	適定與否
診療室		42 m <sup>2</sup>	
防音室 (聽力檢查室)		162 m <sup>2</sup>	
病理室	分析室 (0) 準備室 (0)	261 m <sup>2</sup>	
放射線室	撮影室 (0) 暗室 (0)	285 m <sup>2</sup>	

2. 設備基準

品 名	內 容	購入 年度	保有 代数	性能	共同 使用 與否	他 機關 依賴
視力檢查機	3M用 KOREA AD-16 韓天錫式	91	2	良好		
聽力檢查機 (AUDIOMETER & AUDIO CHECK包含)	Model AA-61BN(JAPAN) RION COMPANY Model 112 U.S.A	79 89	1 1	良好 良好		
顯 微 鏡	U.S.A AO ONE-TEN		3	良好		
白血球 計算板	HAUSSER(U.S.A)		2	良好		
白血球 百分率 計算機	ERMA (JAPAN)		1	良好		
抗 溫 水 槽	CMS 392-175 USA (MS 39-159)	80	2	良好		
遠心分離機	KUBOTA-JAPAN KN-70	87	3	良好		
冷藏庫(冷凍) (冷藏)	Klisch GERMANY SR-183A 三星電子	90 89	1 5	良好 良好		
自動 PIPETTE	DISPENSETTEN (GERMANY : 09102857)		5	良好		
蛋白屈折計	REICHERT		1	良好		
光電光度計 (比色計)	SPECTRONIC-21 (MILTON-USA)	80	2	良好		



品名	內容	購入年度	保有代数	性能	共同使用與否	他機關依賴
X-ray 間攝機	THOSIHA MIRROR CAMERA JAPAN:150KV SHIMAZU(JAPAN 100KV,1側方式, N040326)	87 84	1 1	良好 良好		
X-ray 直撮機	SHIMAZU 500MA(JAPAN) 一般特殊攝影 透視用	85	1	良好		
化學天平 or 直射天平	ELECTRONIC ANALYTICAL BLANCE (GERMANY:200S)	80	1	良好		
自動血球計數機	COULTER T540 (USA-T540)	88	1	良好		
肝機能檢查 機械 機具	SPECTRONIC-21 CECILSERICS-2 (ENGLAND) CE 23P3	88 89	1 1	良好 良好		
血液化學檢查 機械機具	111 PLUS (INSTRUMENTATION LABORATORY)	88	1	良好		
腎臟機能檢查	BECKMAN(USA)	89	1	良好		
小便血球新陳代謝 物質檢查機械機具	SH-7(GERMANY)	88	1	良好		

施設 & 設備基準

施設基準	内 譯	面積	適定與否
面積 33m <sup>2</sup> 以上	(1) 作業環境測定準備室 (2) 分析實驗室	53 m <sup>2</sup> 23.9m <sup>2</sup>	

設備基準	内 譯	製造會社 (製造番號)	購入年度	保有 代數	使用 可能 與否	共同 使用 與否	備 考
(1) 粉塵, 特定化學物質有機溶劑 & 有害gas의 試料採取機	*Personal air Sampler (個人試料 包裝裝置)	GILIAN(U.S.A) HFS-513A (10620, 10621, 10624, 10625, 10626, 10627, 10649, 10650, 10651, 10652)	89	10	可能		
	*Low volume air Sampler	SIBATA(JAPAN) IP-10(560)	79	1	不能		
		L-15P(321440)	89	1	可能		
	*High volume air Sampler	SIBATA(JAPAN) HVS500-10(1182887)	89	1	可能		
	*Mini pump	SIBATA(JAPAN) MP-50N(1191310) (1191336)	80	1	可能		
				1	不能		
	*Stand Sampler	SIBATA MP-601T(0710427 0410292)	91	2	可能		
	*其他						
(2) 光電分光光度計	*UV-visible Spectrophotometer						
(3) 檢知管方式에 의한 gas 또는 蒸氣의 濃度測定	*Organic vapor monitor	3M(U.S.A) (3500)	91	5	可能		
	*Portable ambient air Analyzer						
	*Gastec gas pump	GASTEC(JAPAN) (801)	91	1	可能		
	*Kitagawa gas pump	KITAGAWA(JAPAN) 5A 6389	89	1	可能		
		OA 9310, 9641	80	2	可能		
		7M 3447	79	1	可能		
	*Darger pump						
	*passive gas pump						

設備基準	內 譯	製造會社 (製造番號)	購入年度	保有 代數	使用 可能 與否	共同 使用 與否	備 考
(4)天坪 (0.01mg)以 下까지測定 가능한 것	*Analytical balance air worth *Auto-balance sartoric *Torsion balance *Electronic balance	GERMANY A200S(38090414)	89	1	可能		
(5) 騒音 測定機	*sound level meter with octave Band analyzer (周波數分析機 附着된 騒音 測定機) *Noise meter(指示騒音計)  *Noise dose meter (騒音暴露量 測定機)	B&K(DENMARK) 2230(1428340)  ING. H. SPYRIAG THUN(SWISS)9912 RION(JAPAN) NA-09(67284918) (67284911) QUEST(U.S.A) 2700(HU1090018)  QUEST(U.S.T) M-28(GX10700433)	98  79  80 80 91  91	1  1  1 1 1  1	可能  不能  不能 可能 可能  可能		
(6)乾燥 製造 Desiccator	*Dry oven  *Dry Bath *Vacuum Drying oven *Desiccator	MITAMURA RIKEN KOGYO(JAPAN:OV- 24.139)  韓光Glass(KOREA)	79  89	1  1	可能  可能		
(7)純水 製造機(2次 蒸溜用) Drapt chamber & 化學實驗臺	*純水製造機 *Drapt chamber *化學實驗臺	KOREA  KOREA  本院製作	89  89  90	1  1  2	可能  可能  可能		

設備基準	內 譯	製造會社 (製造番號)	購入年度	保有 代数	使用 可能 與否	共同 使用 與否	備 考
(8)簡易 粉塵測定機	*Digital dust indicator  *Digital aerosol monitor *Piezo balance粉塵計 *餘紙粉塵計	SIBATA(JAPAN) P-3(1190619)	79	1	不能		
		(0856287)	80	1	可能		
		(1190183)	79	1	可能		
		P-5(1188077)	89	1	可能		
(9)大氣の 溫度, 濕度 氣流, 輻射 熱 & 照度 等を測定 할 수 있는 機器	*溫濕度 測定計	JSATO(JAPAN)	79	1	不能		Ashman 通風 乾濕計
		SIBATA(JAPAN)	80	1	不能		
		1/5SCALE(ISUZU)					
		SIBATA(JAPAN)	80	1	可能		
		(電動式1/5SCALE)					
		SIBATA(JAPAN)	80	1	可能		
	輻射熱測定計	SIBATA(JAPAN)	80	1	可能		PYRO METER 黑球 溫度計
		(手動式1193718)					
		SIBATA(JAPAN)	89	3	可能		
	濕球, 黑球 溫度計	SATO(JAPAN)	91	1	可能		WBGT
		小形電動式7440					
		MITAMURA RIKEN	79	1	可能		
	照度計	(JAPAN)17-9055313)					WBGT
		SIBATA(JAPAN)	79	1	可能		
		(8034-150)					
		SIBATA(JAPAN)	80	2	可能		
		(803-8 STAND)					
		SIBATA(JAPAN)	89	1	可能		
WBGT-1(1081051)							
TAKEMURA ELECTRIC		79	1	不能			
(JAPAN)DM-28(13551975)							
TOPCON(JAPAN)	80	1	可能				
SPI-71(80304691)							
TOPCON(JAPAN)	80	1	可能				
SPI-71(80104546)							
SIBATA(JAPNT)	89	1	可能				
3281(68BH0811)							
SIBATA(JAPAN)	80	4	可能				
ANA-5(8183, 8188 8213, 8218)							
SIBATA(JAPAN)	91	1	可能				
ANA-999(911017)							

設備基準	內 課	製造會社 (製造番號)	購入年度	保有 代數	使用 可能 與否	共同 使用 與否	備 考
	氣流測定計	SIBATA(JAPAN) (059123) (0591239)	80 80	1 1	可能 可能		Kata 溫度計
(10)酸素 濃度測定機	*O <sub>2</sub> meter  *Portable gas indicator	GAS TEC(JAPAN) GOA-2H(4504) GOA-2H(6361)	89 91	1 1	可能 可能		
(11)Gas- chromatography (FID및ECD 檢出機를 가진것)	*FID(火焰Ion 化檢出機) *ECD(電子捕捉檢出機) *TCD(熱傳度檢出機) *FPD(火焰 光度檢出機)	SHIMADZU GC-14A	89	1	可能	産業 醫學 研究所	順天鄉 大學
(12)原子 吸光光度計	*Flame atomic absorption spectrophotometer(火焰法 原子吸光光度計)  *Flame less atomic absorp tion spectrophotometer (無火焰法 原子吸光光度計)	SHIMADZU AA-670 HITACHI Z-8100	89 90	1 1	可能 可能	産業 醫學 研究所	順天鄉 大學 "
(13)赤外線 分光分析機	*FT-infrared spectrophoto- meter  *Infrared air analyzer	MILTON ROY SPECTRONIC21  FOXBORO(U.S.A)	88 90	1 1	可能 可能	"	"
(14)局所 排氣施設性 能試驗裝備 Smog test 聽音機 or 聽音棒 絕緣抵抗計 表面溫度計 or 硝子溫度 計, 定壓 Probe가 달 린熱線風速 計, 回轉計 (RPM測定機)	*聽音機 or 聽音棒  *絕緣抵抗計  *表面溫度計 or 硝子溫度計  *Smog test  *定壓Probe가 달린 熱線 風速計  *回轉計(RPM 測定機)	YOKOGAWA(JAPAN) (3221) 화성 計量機  GASTEC(JAPAN)  SIBATA(JAPAN) ISA-8(0591233 0591239) SHIMPO(JAPAN) EE-1(10189105)	87 88 85 80 91	1 2 3 2 1	可能 可能 可能 可能 可能		

設備基準	內 譯	製造會社 (製造番號)	購入年度	保有 代數	使用 可能 與否	共同 使用 與否	備 考
(15)分析을 行함에있어 有害物質을 排出할때 가 있는경 우 排氣 또는 排液 處理를爲한 設備	FUME HOOD	手工洋行	90	2	可能		
(16)其他	*GC/MXD9 gaschromatography /質量分光分析機  *HPLC(高速液體 chromatography  *紫外線測定機(UV-meter)  *石綿分析裝備 Phase contrast micro scope(位像差 顯微鏡)  *Co meter	SIBATA(JAPAN) UV-3(1181164)  GASTEC(JAPAN) CM-5558	89  89	1  1	可能  可能		

\*.設備基準 內譯欄에 追加된 裝備는 其他에 裝備名 및 使用用途記入(必要時 別紙에  
作成添附)  
作業環境測定, 裝備修理등으로 인한 點檢時 漏落項目 防止



JICA